

第1回姫路市国際戦略 検討懇話会 会議資料

2026.3.6

国際戦略課



次第

1

開会

2

挨拶

3

委員紹介

4

懇話会趣旨・スケジュール案

5

座長選任

6

協議事項

- (1) 姫路市国際戦略の策定について
- (2) 姫路市の国際化の現状について

7

閉会



姫路市国際戦略 検討懇話会について

姫路市国際戦略検討懇話会について

趣旨

姫路市が「世界から選ばれるまち」を目指し、成長していくための国際戦略を策定するにあたり、優れた見識を有する委員から、幅広い意見や提案を聴取することを目的とした任意の懇話会

委員

	氏名 (50音順、敬称略)	職名等	備考
1	高坂 誠	兵庫県立大学学長	
2	手島 恵美	JETRO神戸所長	
3	中農 一也	姫路地区専門学校協議会会長	
4	福吉 マルタ	姫路市外国人相談センター相談員	
5	夫馬 賢治	ニューラルCEO、信州大学特任教授	

姫路市国際戦略検討懇話会スケジュール案

1

2026.3.6(金)

- 委員紹介及び座長の選任
- 懇話会趣旨・スケジュール案
- 姫路市国際戦略の策定について
- 姫路市の国際化の現状について

2

2026.5

- 姫路市の国際化の現状について
- 姫路市国際戦略骨子案について

3

2026.8

- 姫路市国際戦略素案について

4

2026.10

- 姫路市国際戦略素案について

5

2027.2

- 姫路市国際戦略案のパブコメ募集結果について
- 姫路市国際戦略案について

※ 開催回数、開催時期等は、会議の進捗等により変更となる場合があります。



姫路市国際戦略の 策定について

背景

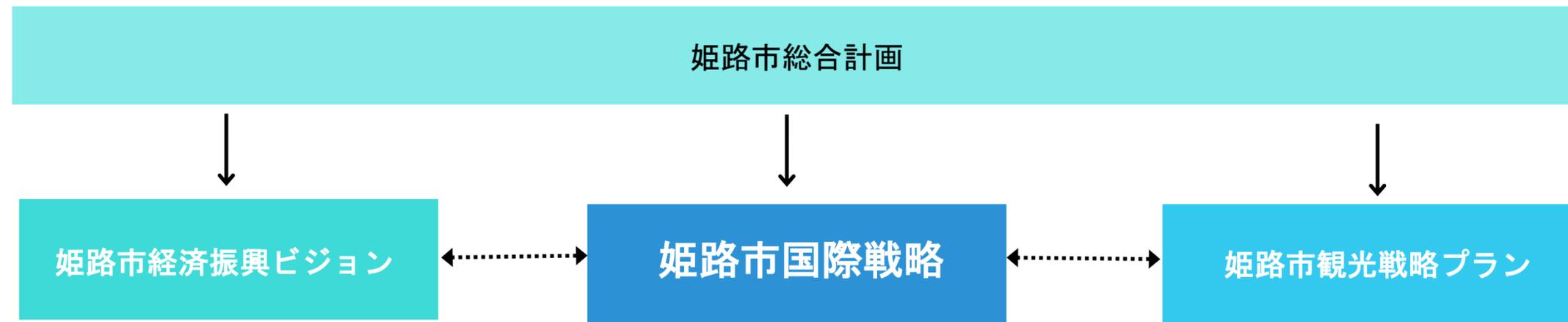
- 本戦略策定の背景には、国際社会及び国内において急速に進む環境の変化があります。
 1. 国際社会では人道危機や地球温暖化、感染症の拡大といった地球規模課題が深刻化し、基礎自治体としての対応が求められています。
 2. 国内においては、少子化が急速に進行し、本市においては大都市圏への若者の流出も重なって地域社会の担い手不足が大きな課題となっています。
 3. こうした状況と並行して、国の外国人受入拡大などに伴い、在住・訪日外国人の増加や国籍の多様化が進んでいます。
- 多様なルーツを持つ人が、異なる価値観を尊重しながら、協働して地域の活性化に取り組むことができる環境づくりを進めていくことが、喫緊の課題です。
- このような社会構造の変化に柔軟に対応し、本市の持続的な発展を図るべく、国際的な視点から総合的、戦略的な取組が求められます。

目的

- ・国内外及び本市における社会経済情勢の変化を踏まえ、本市における国際化をより戦略的に展開していくため、今後取り組む国際化推進施策の基本となる方針として「姫路市国際戦略」を策定します。

位置付け

- ・姫路市国際戦略は、最上位の計画である「姫路市総合計画」の下、「姫路市国際化推進プラン2022～2026」を本戦略に取り込むとともに、「姫路市経済振興ビジョン」や「姫路市観光戦略プラン」との整合性を図りながら、今後取り組む本市の国際化推進施策の基本となる方針として位置付けるものです。



計画期間

- ・令和9年（2027年）4月1日から令和14年（2032年）3月31日までの5年間

姫路市の国際化の現状について

- I. 外国人住民に関する統計
- II. 外国人相談センター相談件数
- III. 国際化に係る市民アンケート調査（調査結果／速報）
- IV. SWOT分析





姫路市に住む外国人人数の推移

- ▶ 外国人在住者数は5年間で2割の増加
- ▶ 従来最多であった韓国・朝鮮を、令和6年度にベトナムが上回り、国籍別構成に変化
- ▶ ネパール、インドネシア、ミャンマーなど東南アジア諸国からの在住者の増加が顕著

国籍	R2.4.1		R3.4.1		R4.4.1		R5.4.1		R6.4.1		R7.4.1	
ベトナム	3,648	(2)	3,843	(2)	3,709	(2)	4,065	(2)	4,464	(1)	4,782	(1)
韓国・朝鮮	4,694	(1)	4,572	(1)	4,447	(1)	4,377	(1)	4,275	(2)	4,202	(2)
中国	1,461	(3)	1,361	(3)	1,233	(3)	1,225	(3)	1,250	(3)	1,317	(3)
ネパール	79	(9)	142	(6)	179	(5)	510	(5)	544	(5)	771	(4)
インドネシア	216	(5)	206	(5)	173	(6)	357	(6)	471	(6)	667	(5)
フィリピン	552	(4)	539	(4)	530	(4)	592	(4)	620	(4)	664	(6)
ミャンマー	74	(11)	85	(9)	68	(11)	194	(7)	302	(7)	469	(7)
ブラジル	105	(6)	84	(10)	86	(8)	85	(11)	96	(9)	151	(8)
バングラデシュ	18	(19)	43	(14)	25	(14)	114	(8)	81	(11)	122	(9)
米国	97	(7)	93	(7)	93	(7)	99	(9)	122	(8)	114	(10)
スリランカ	25	(15)	24	(15)	19	(20)	43	(15)	67	(14)	108	(11)
タイ	92	(8)	91	(8)	78	(9)	91	(10)	94	(10)	107	(12)
その他	468		454		464		506		547		590	
総計	11,529		11,537		11,104		12,258		12,933		14,064	

※出典：姫路市・播磨圏域連携中枢都市圏オープンデータカタログサイト

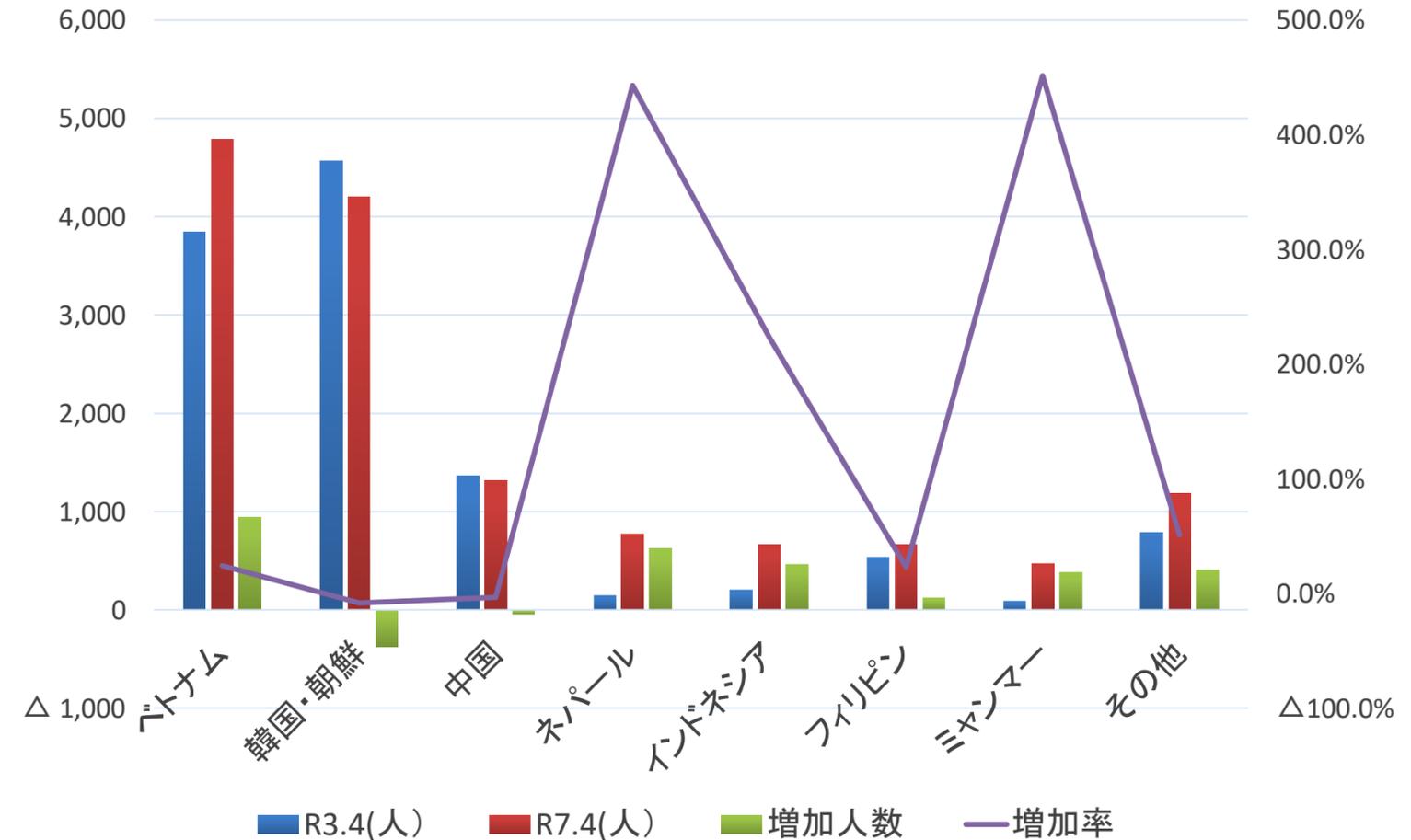
※（ ）内の数字は、各年での順位



姫路市の国籍別人数・増加率

	R3.4(人)	R7.4(人)	増加人数	増加率
ベトナム	3,843	4,782	939	24.4%
韓国・朝鮮	4,572	4,202	△ 370	△8.1%
中国	1,361	1,317	△ 44	△3.2%
ネパール	142	771	629	443.0%
インドネシア	206	667	461	223.8%
フィリピン	539	664	125	23.2%
ミャンマー	85	469	384	451.8%
その他	789	1,192	403	51.1%
合計	11,537	14,064	2,527	21.9%

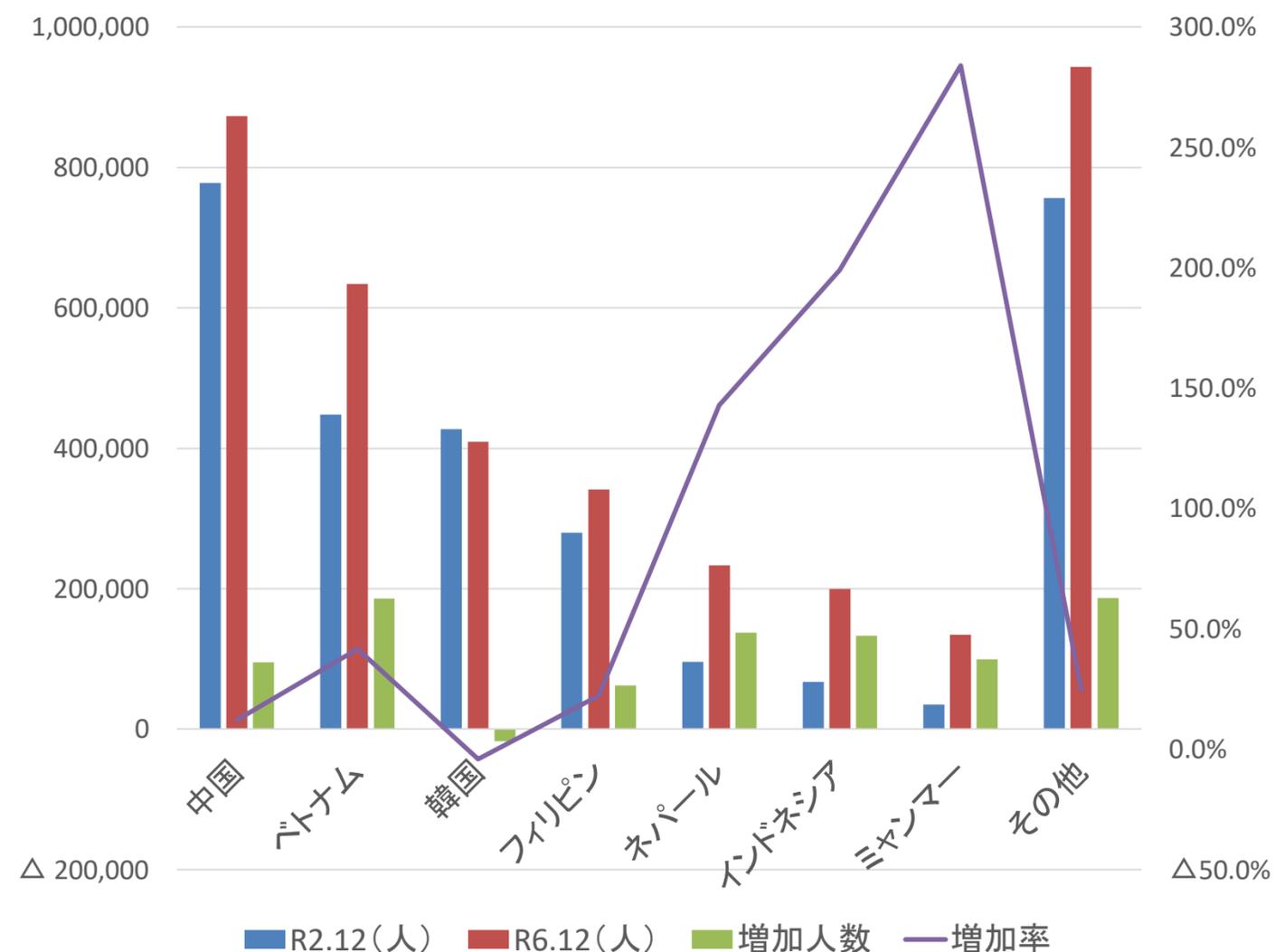
※出典：姫路市



【参考】日本の国籍別人数・増加率

	R2.12(人)	R6.12(人)	増加人数	増加率
中国	778,112	873,286	95,174	12.2%
ベトナム	448,053	634,361	186,308	41.6%
韓国	426,908	409,238	△ 17,670	△4.1%
フィリピン	279,660	341,518	61,858	22.1%
ネパール	95,982	233,043	137,061	142.8%
インドネシア	66,832	199,824	132,992	199.0%
ミャンマー	35,049	134,574	99,525	284.0%
その他	756,520	943,133	186,613	24.7%
合計	2,887,116	3,768,977	881,861	30.5%

出典：法務省ウェブサイト (<https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/index.html>) を加工して作成

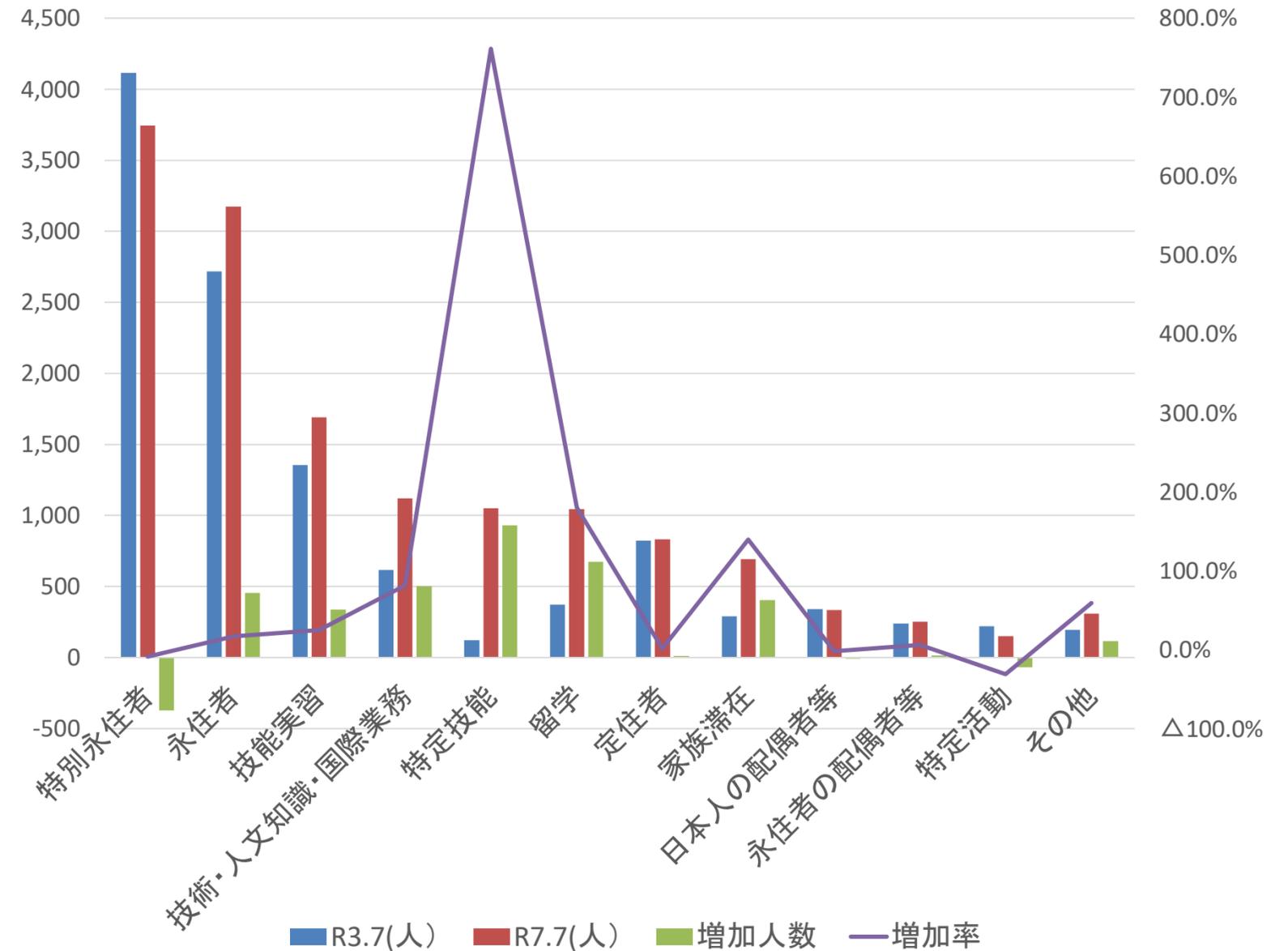




姫路市の在留資格別人数・増加率

	R3.7(人)	R7.7(人)	増加人数	増加率
特別永住者	4,117	3,744	△ 373	△9.1%
永住者	2,718	3,173	455	16.7%
技能実習	1,354	1,690	336	24.8%
技術・人文知識・国際 業務	617	1,119	502	81.4%
特定技能	122	1,051	929	761.5%
留学	373	1,045	672	180.2%
定住者	822	832	10	1.2%
家族滞在	289	692	403	139.4%
日本人の配偶者等	340	333	△ 7	△2.1%
永住者の配偶者等	238	252	14	5.9%
特定活動	220	152	△ 68	△30.9%
その他	194	309	115	59.3%
合計	11,404	14,392	2,988	26.2%

※出典：姫路市



●姫路市の技能実習生の国籍別人数・増加率

	R3.7(人)	R7.7(人)	増加人数	増加率
ベトナム	868	882	14	1.6%
インドネシア	125	380	255	204.0%
ミャンマー	47	140	93	197.9%
フィリピン	52	98	46	88.5%
中国	190	66	△ 124	△65.3%
カンボジア	30	51	21	70.0%
タイ	40	46	6	15.0%
ネパール	0	13	13	皆増
パキスタン	0	7	7	皆増
モンゴル	0	4	4	皆増
バングラデシュ	0	2	2	皆増
スリランカ	0	1	1	皆増
インド	2	0	△ 2	皆減
合計	1,354	1,690	336	24.8%

※出典：姫路市

●姫路市の技術・人文知識・国際業務の国籍別人数・増加率

	R3.7(人)	R7.7(人)	増加人数	増加率
ベトナム	331	581	250	75.5%
中国	118	139	21	17.8%
ミャンマー	13	104	91	700.0%
ネパール	25	97	72	288.0%
スリランカ	6	32	26	433.3%
韓国	24	24	0	0.0%
米国	8	20	12	150.0%
フィリピン	24	17	△ 7	△29.2%
インドネシア	9	16	7	77.8%
インド	9	12	3	33.3%
バングラデシュ	3	11	8	266.7%
台湾	5	11	6	120.0%
その他	42	55	13	31.0%
合計	617	1,119	502	81.4%

※出典：姫路市

●姫路市の特定技能の国籍別人数・増加率

	R3.7(人)	R7.7(人)	増加人数	増加率
ベトナム	90	586	496	551.1%
インドネシア	15	245	230	1533.3%
ミャンマー	7	71	64	914.3%
フィリピン	2	58	56	2800.0%
ネパール	1	31	30	3000.0%
中国	5	30	25	500.0%
タイ	2	10	8	400.0%
カンボジア	0	10	10	皆増
スリランカ	0	7	7	皆増
韓国	0	2	2	皆増
インド	0	1	1	皆増
合計	122	1,051	929	761.5%

※出典：姫路市

●姫路市の留学生の国籍別人数・増加率

	R3.7(人)	R7.7(人)	増加人数	増加率
ネパール	72	549	477	662.5%
ミャンマー	12	144	132	1100.0%
バングラデシュ	32	137	105	328.1%
ベトナム	179	72	△ 107	△59.8%
スリランカ	7	57	50	714.3%
中国	38	26	△ 12	△31.6%
インドネシア	18	13	△ 5	△27.8%
その他	15	47	32	213.3%
合計	373	1,045	672	180.2%

※出典：姫路市

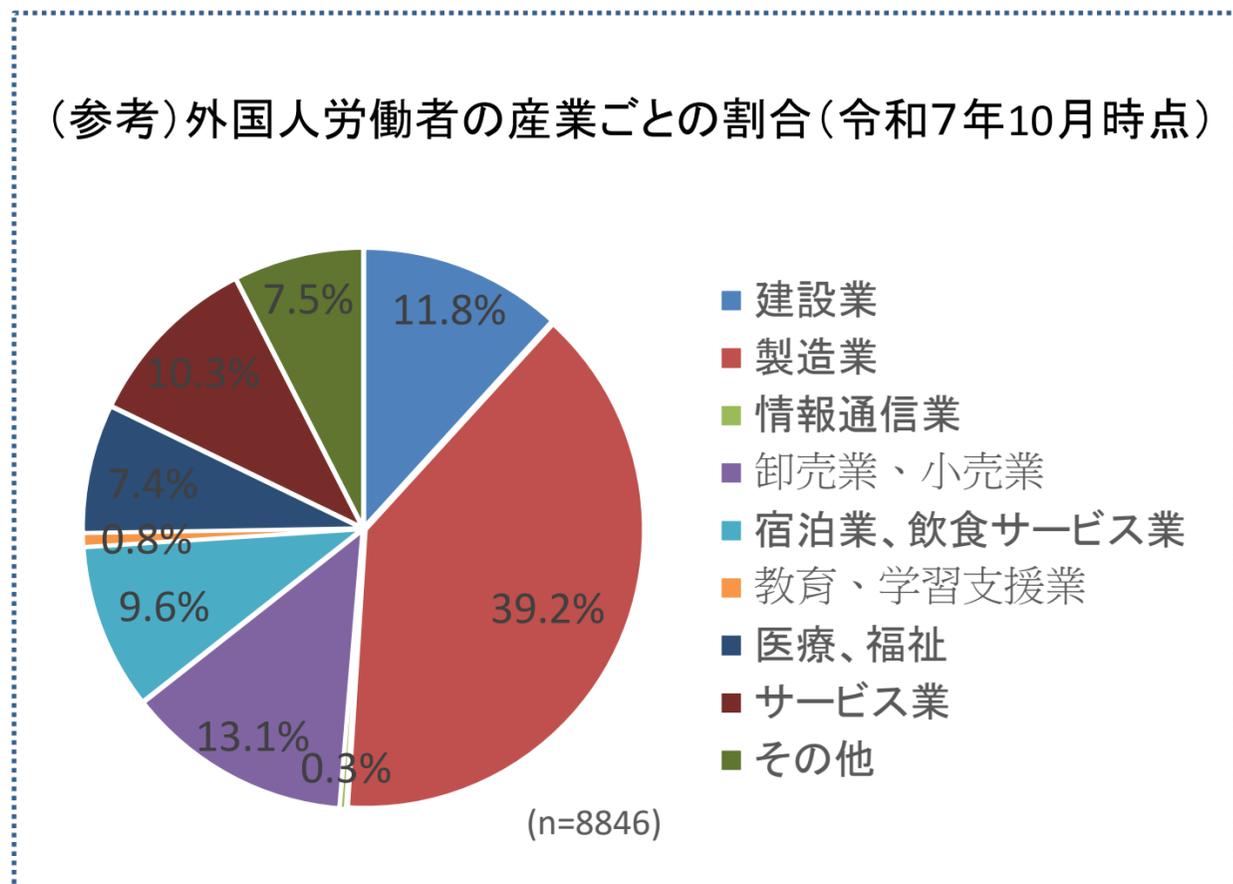
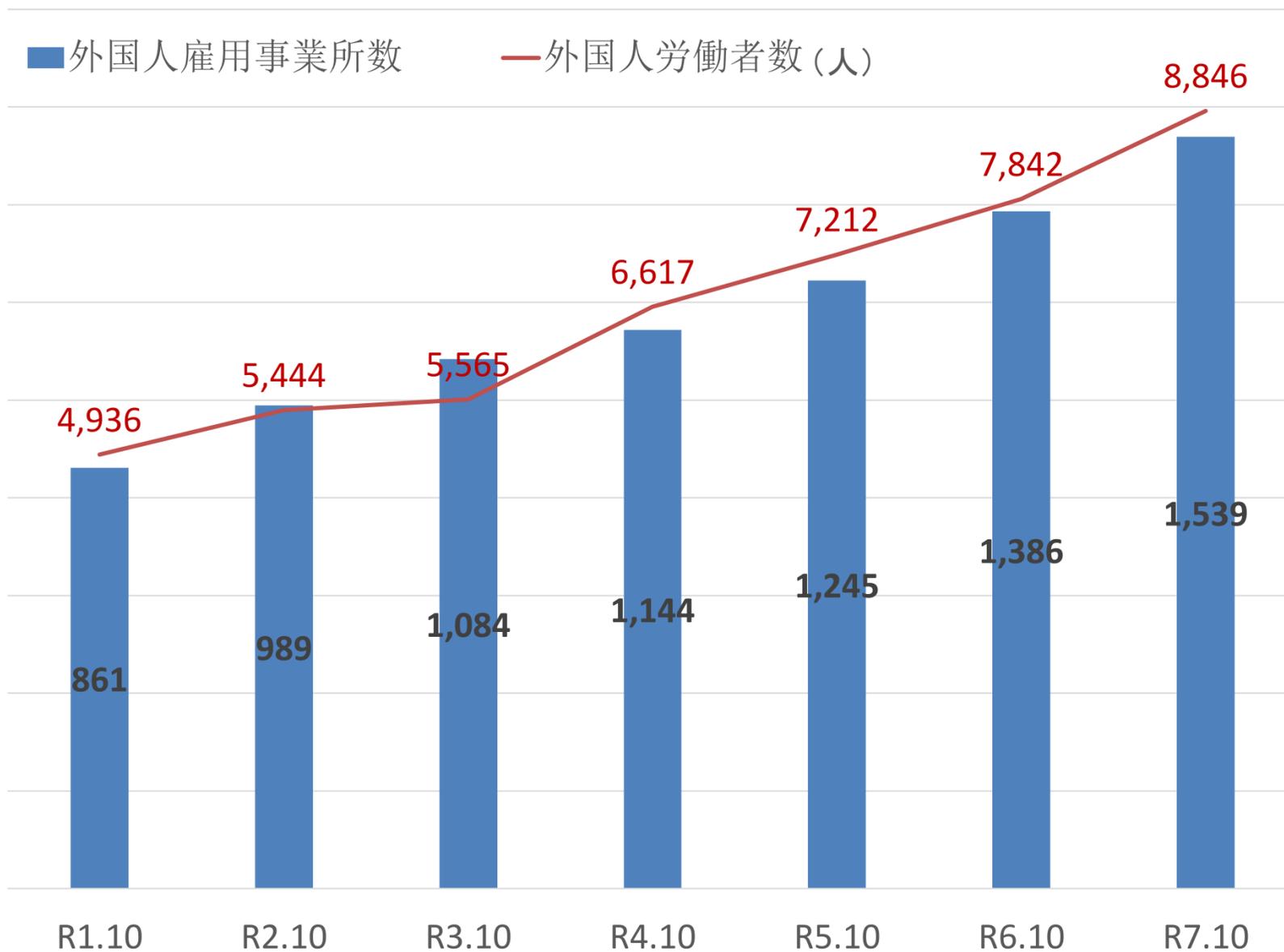
◆【参考】主な在留資格

在留資格	該当例
特別永住者	戦前から日本に在住し、平和条約により日本国籍を離脱した韓国・朝鮮・台湾人及びその子孫
永住者	法務大臣から永住の許可を受けた者（入管特例法の「特別永住者」を除く。）
技能実習	技能実習生（人材育成を通じた開発途上地域等への技能，技術又は知識の移転を図り，国際協力を推進することを目的とする）
技術・人文知識・国際業務	機械工学等の技術者，通訳，デザイナー，私企業の語学教師，マーケティング業務従事者等
特定技能	特定産業分野に属する相当程度の知識又は経験を要する技能を要する業務に従事する外国人（深刻な人手不足に対応するため，特定の産業上の分野において，一定の専門性・技能を有し，即戦力となる外国人材を受け入れるもの）
留学	大学，短期大学，高等専門学校，高等学校，中学校及び小学校等の学生・生徒
定住者	第三国定住難民，日系3世，中国残留邦人等
家族滞在	在留外国人が扶養する配偶者・子
日本人の配偶者等	日本人の配偶者・子・特別養子
永住者の配偶者等	永住者・特別永住者の配偶者及び本邦で出生し引き続き在留している子
特定活動	外交官等の家事使用人，ワーキング・ホリデー，経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者等

※出典：出入国在留管理庁



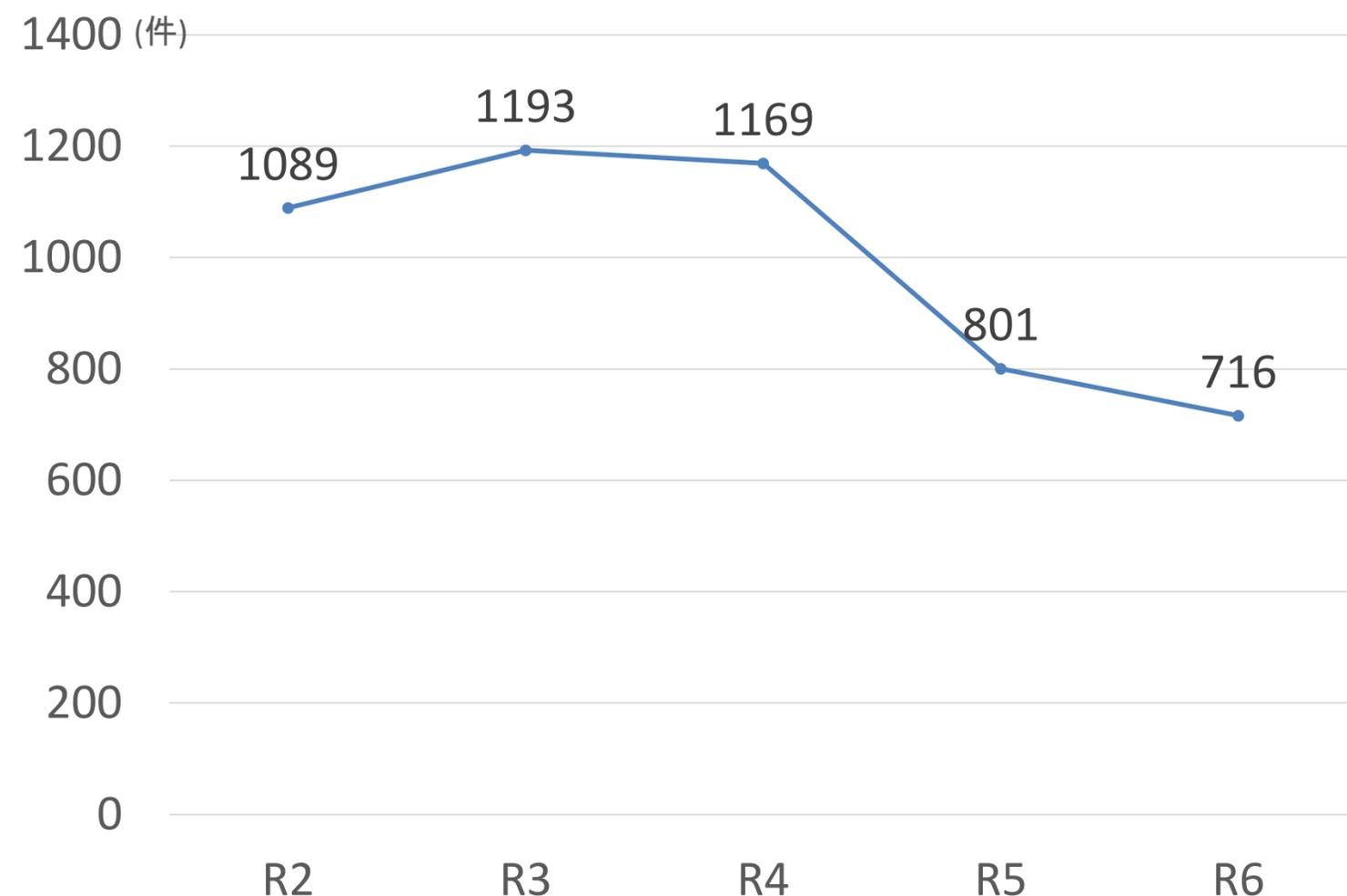
外国人雇用事業所数・外国人労働者数の推移（ハローワーク姫路管内）



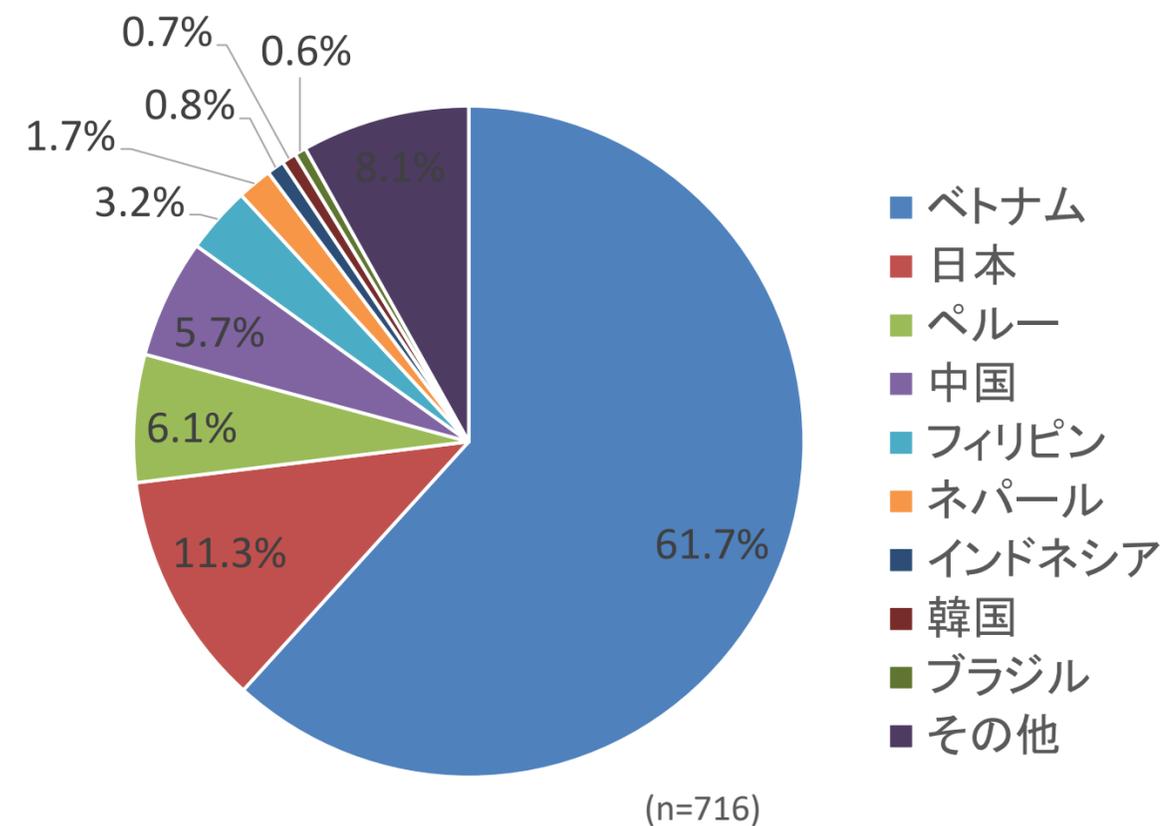


姫路市外国人相談センターにおける相談件数等

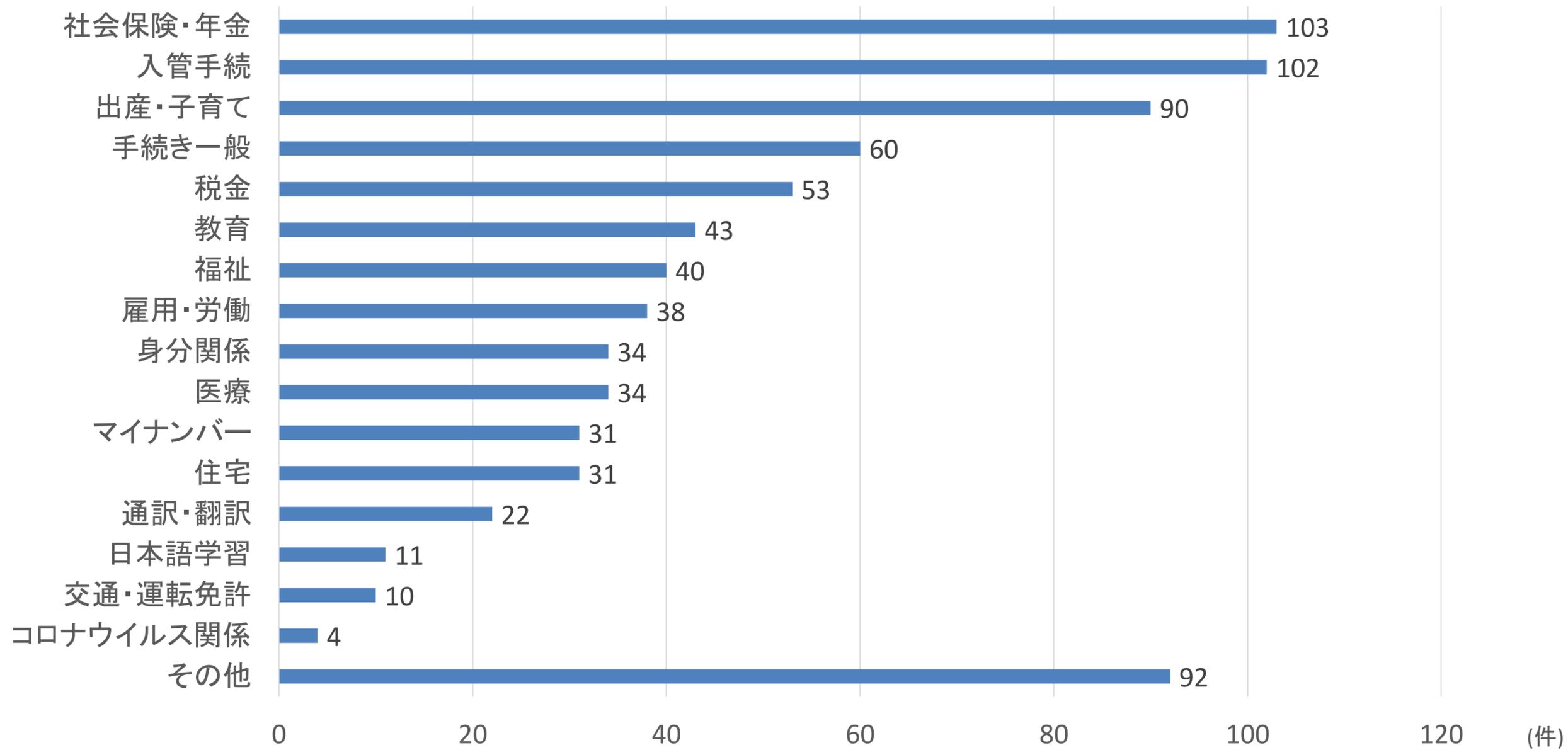
●相談件数の推移（令和2年度～6年度）



●相談者の国籍（令和6年度）



●相談内容ごとの件数（令和6年度）





国際化に関する市民アンケート調査（調査結果／速報）

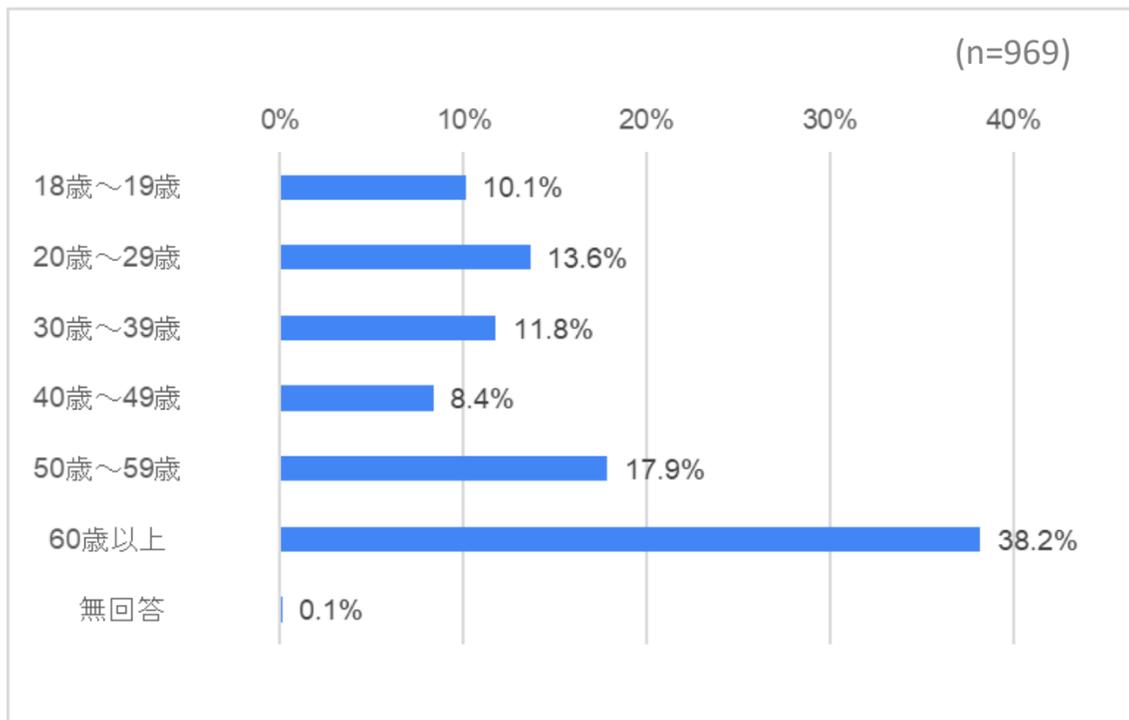
●調査概要

調査対象	① 満18才以上の市民から無作為抽出した3,000人 (前回調査をもとに年代ごとに抽出数を補正)
	② 市内に居住する満18歳以上の外国人市民約1,290人 ※主な送付先： ・市内保育所及び小中学校等に在籍する外国人児童・生徒の保護者 ・市内大学、専門学校等の在校生 ・日本語教室の学習者 ・市内企業
回収数	日本人969件、外国人643件
調査方法	郵送による配布・回収 ※外国人市民へは、英語、中国語、ベトナム語、ネパール語、ミャンマー語、やさしい日本語の中から、各学校・企業等に在籍する外国人の使用言語の調査票を配布
調査時期	令和7年12月～同8年1月

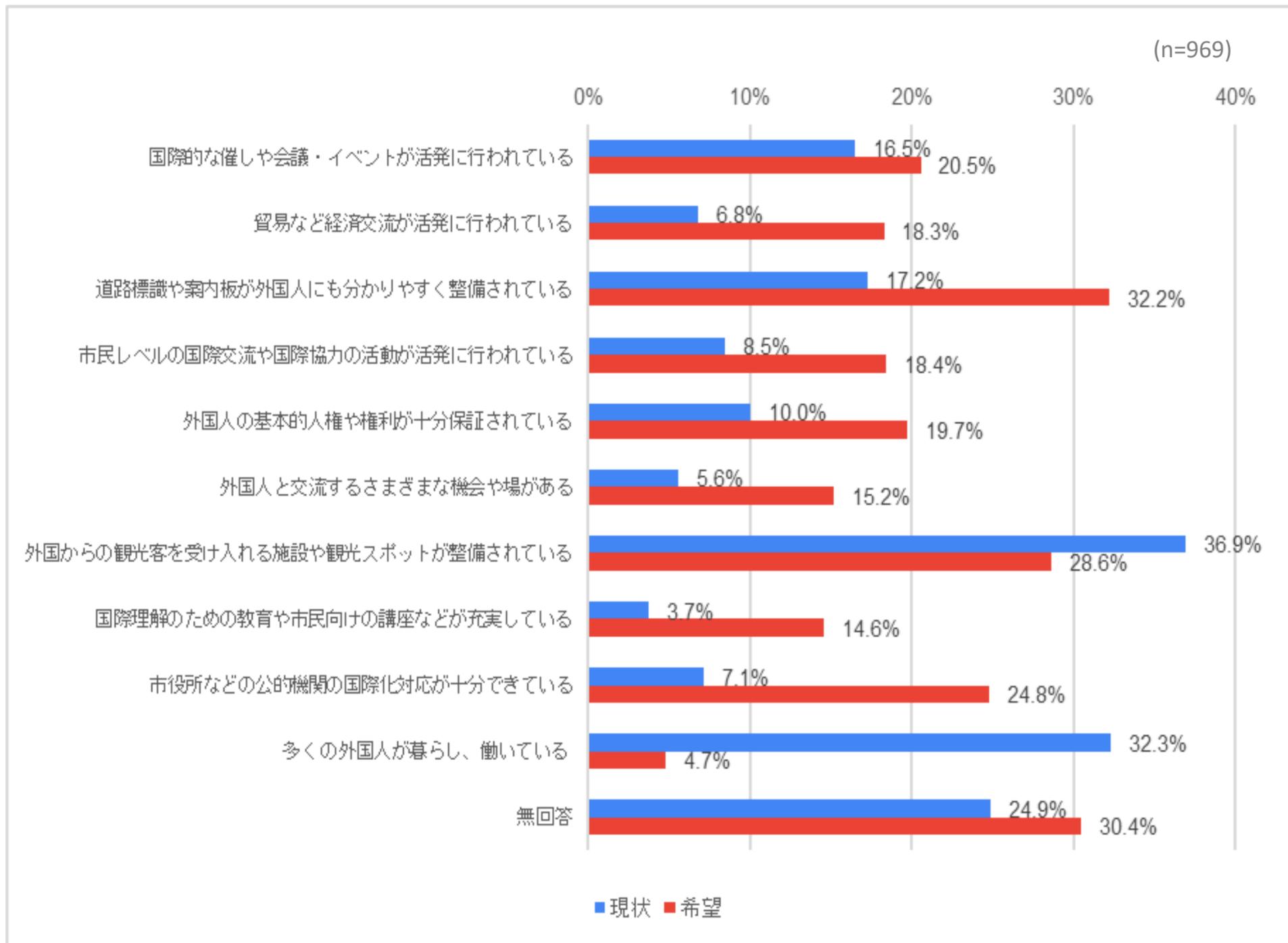


日本人への調査結果

①年代



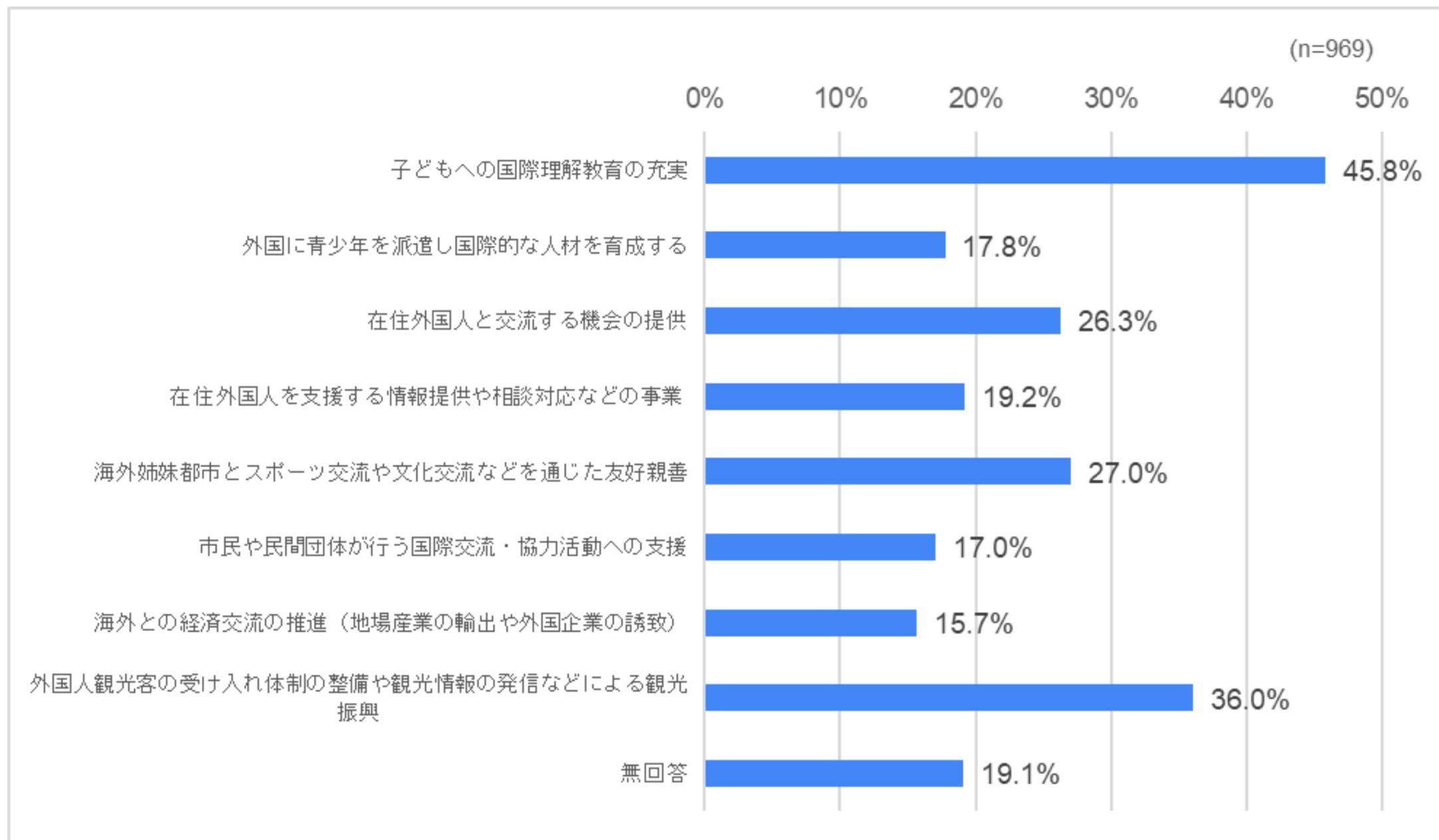
②姫路市の国際化推進について(上段:現状認識、下段:希望)※複数回答





日本人への調査結果

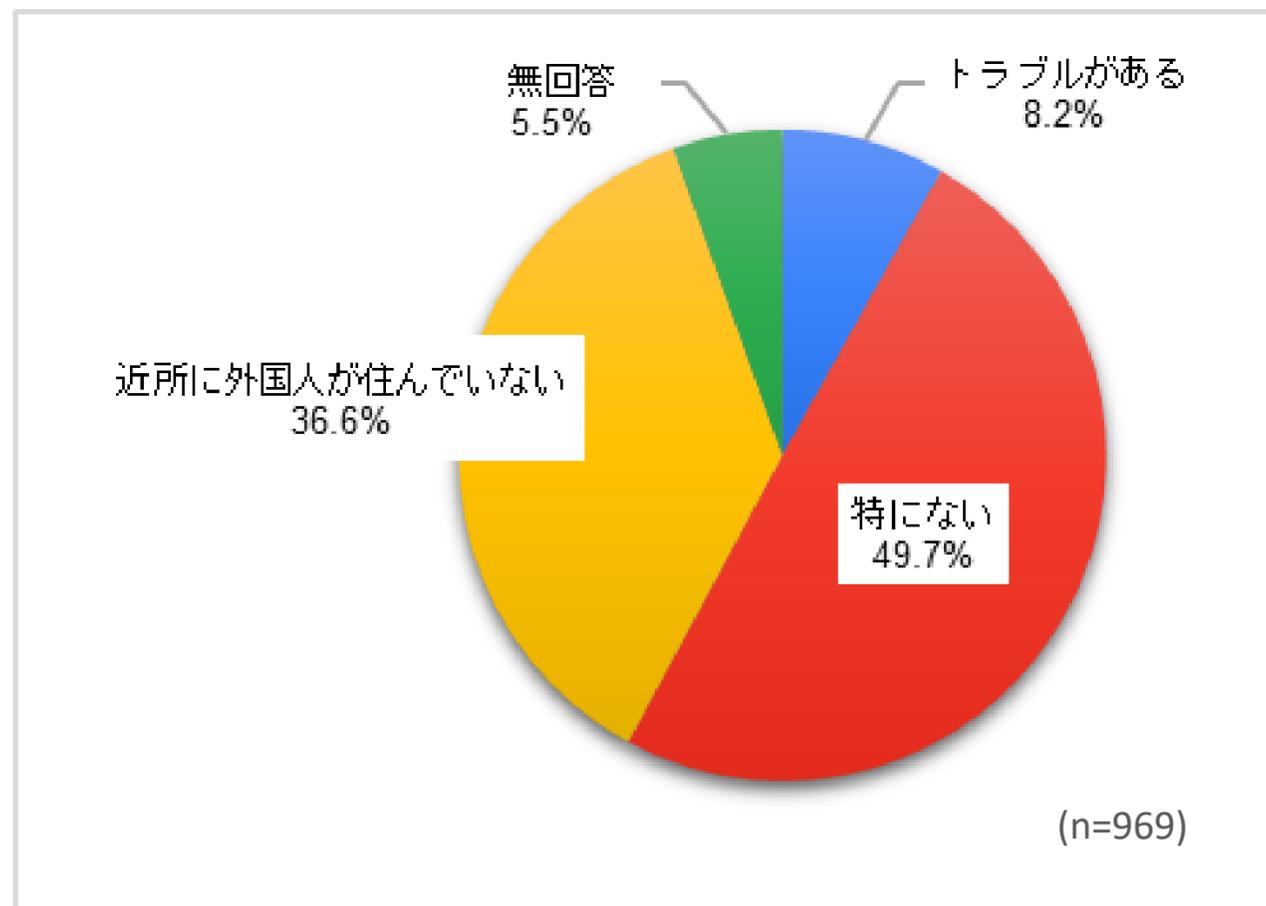
③ 市民の国際理解や国際化推進を図るために必要な取組 ※複数回答



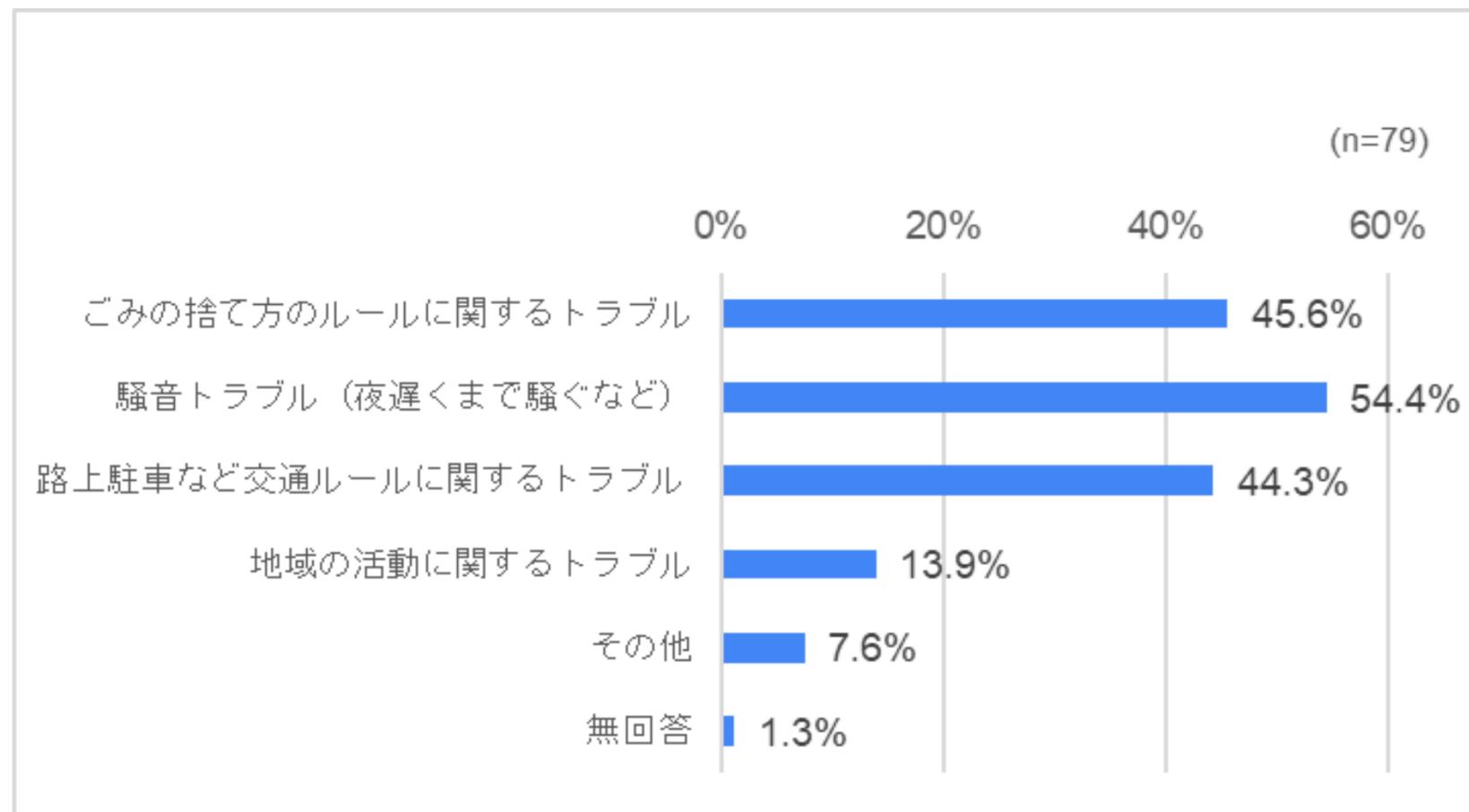


日本人への調査結果

④ 住んでいる地域での外国人とのトラブル



⑤ トラブルの内容 ※複数回答

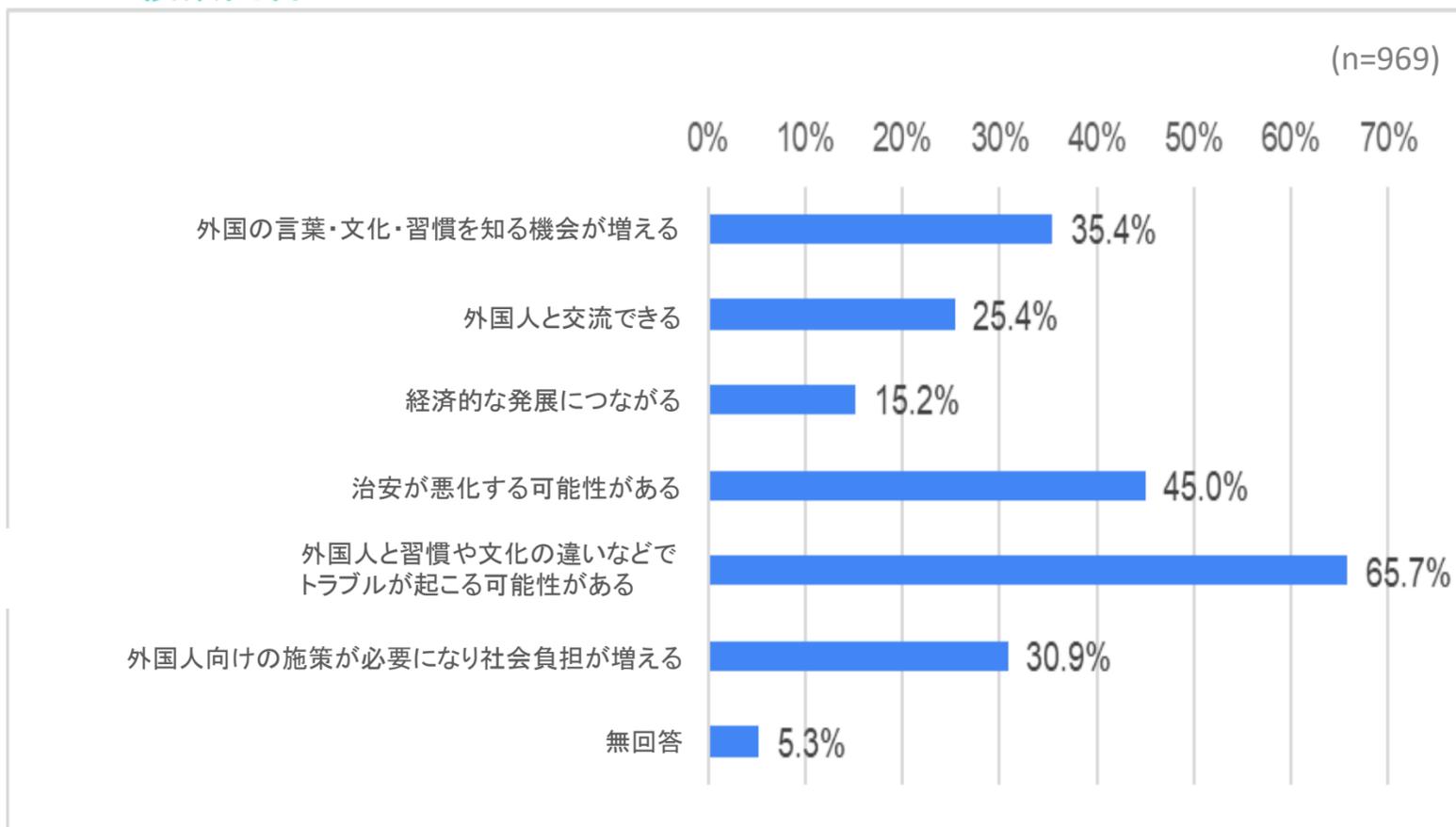




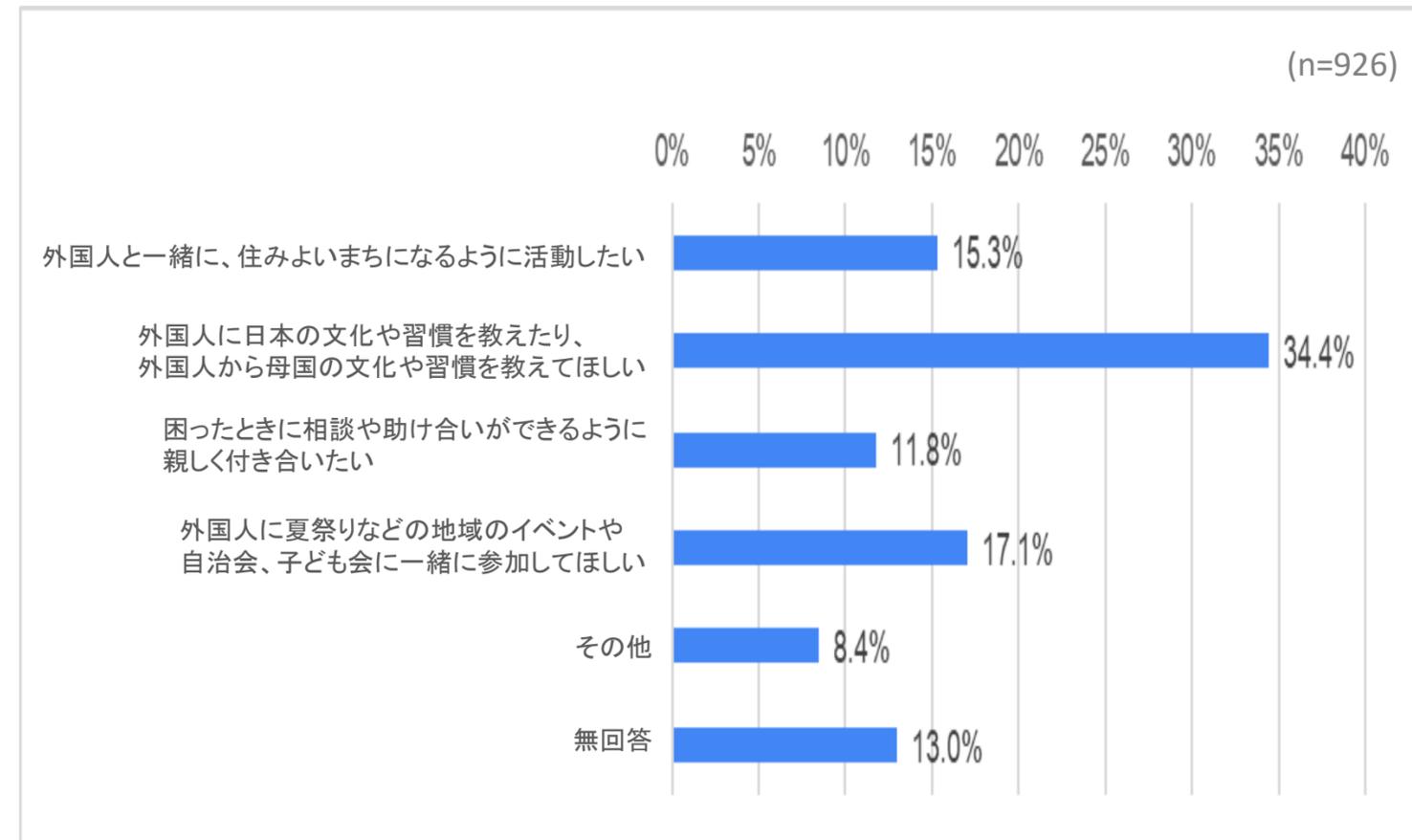
日本人への調査結果

⑥ 地域に外国人が増えることに対する意見

※複数回答



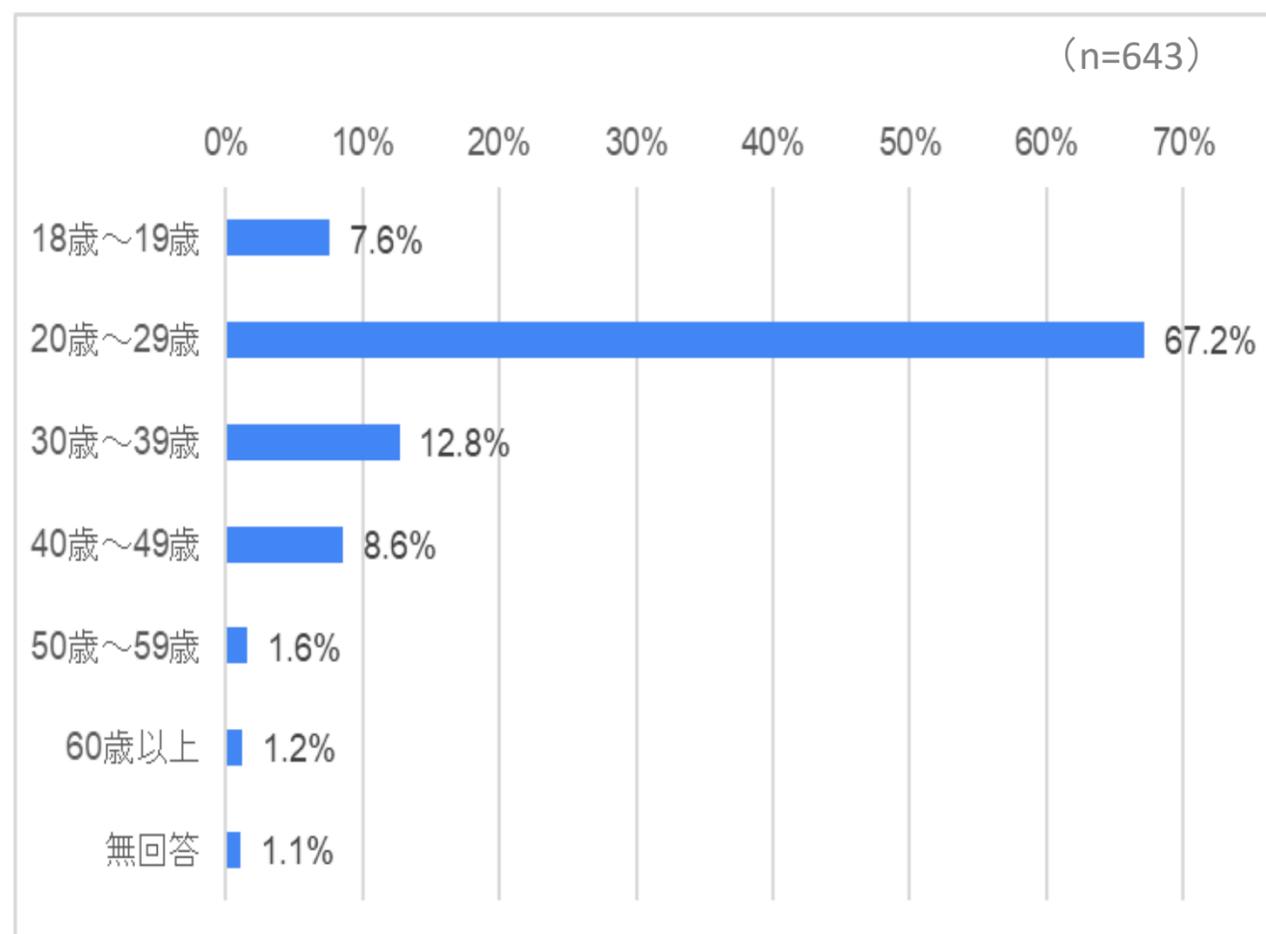
⑦ 地域の在住外国人との交流に関する意見



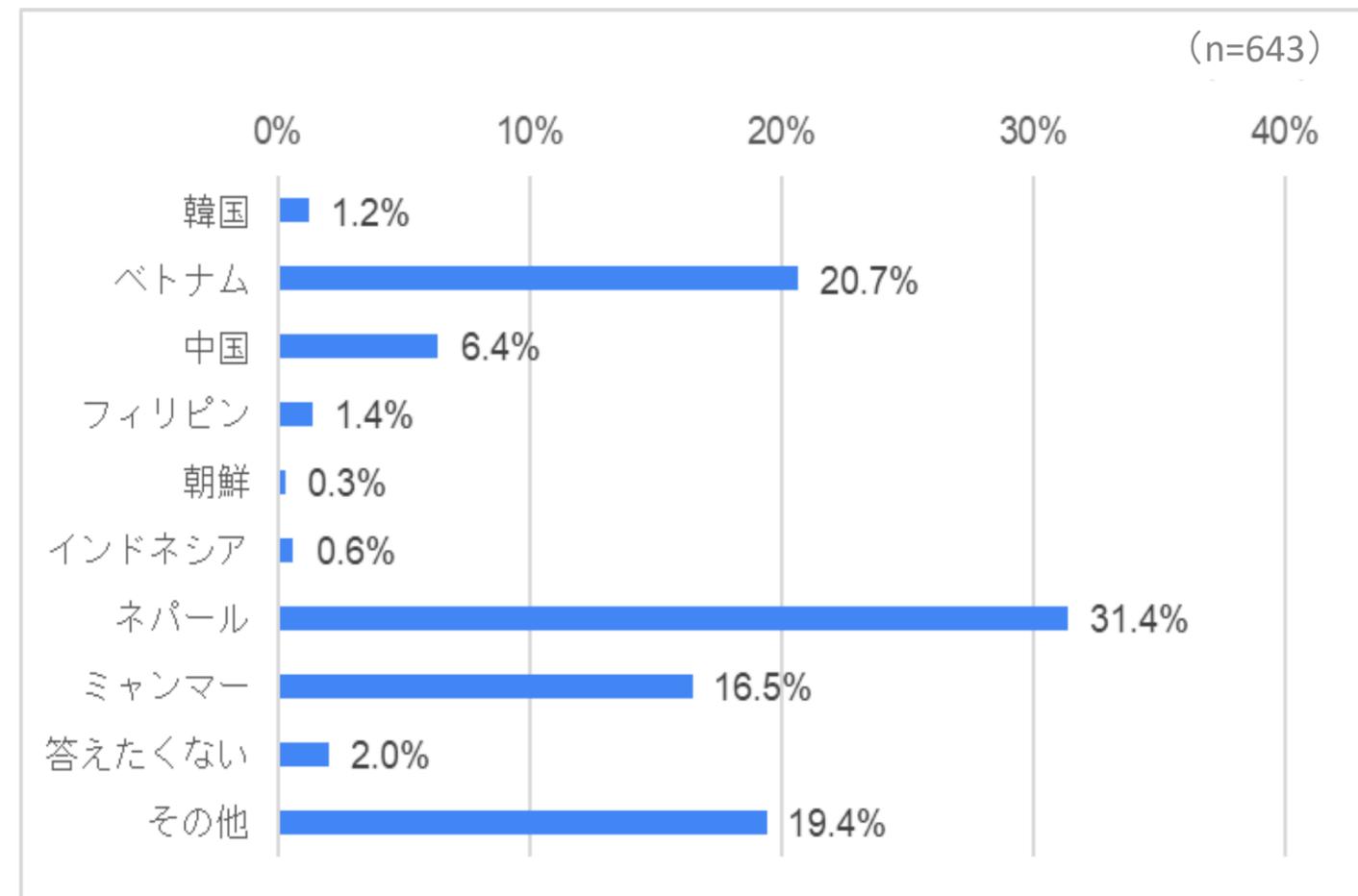


外国人への調査結果

①年代



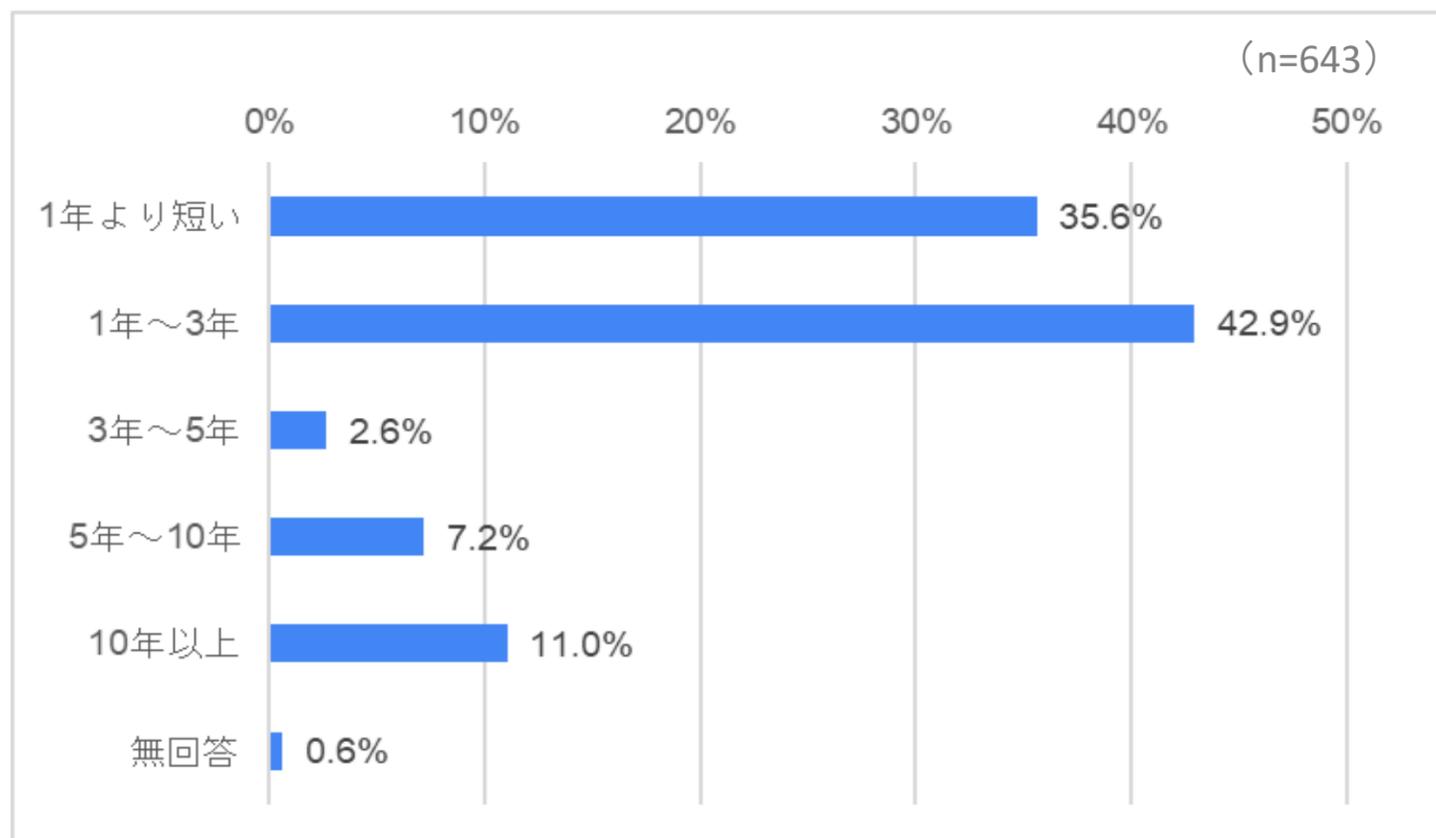
②国籍



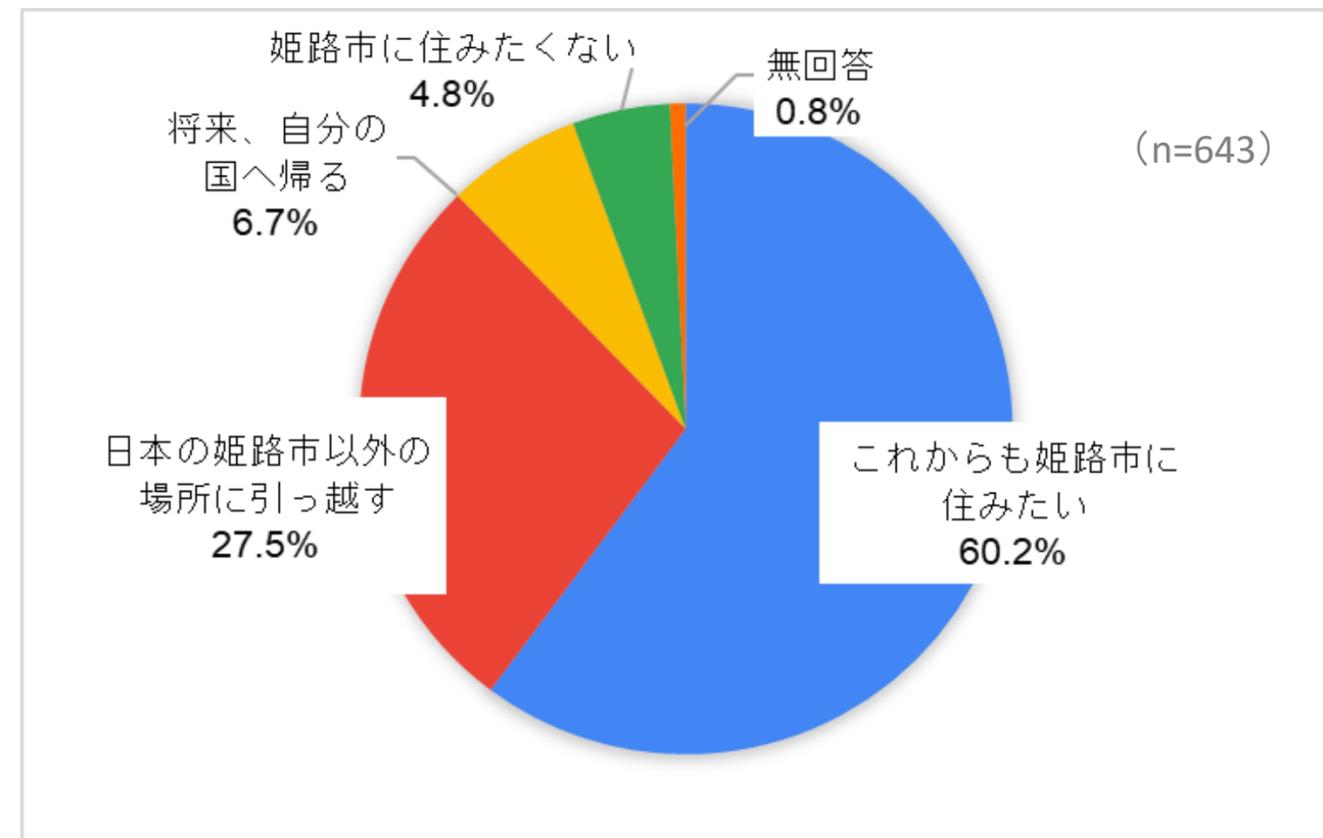


外国人への調査結果

③ 姫路市での居住年数



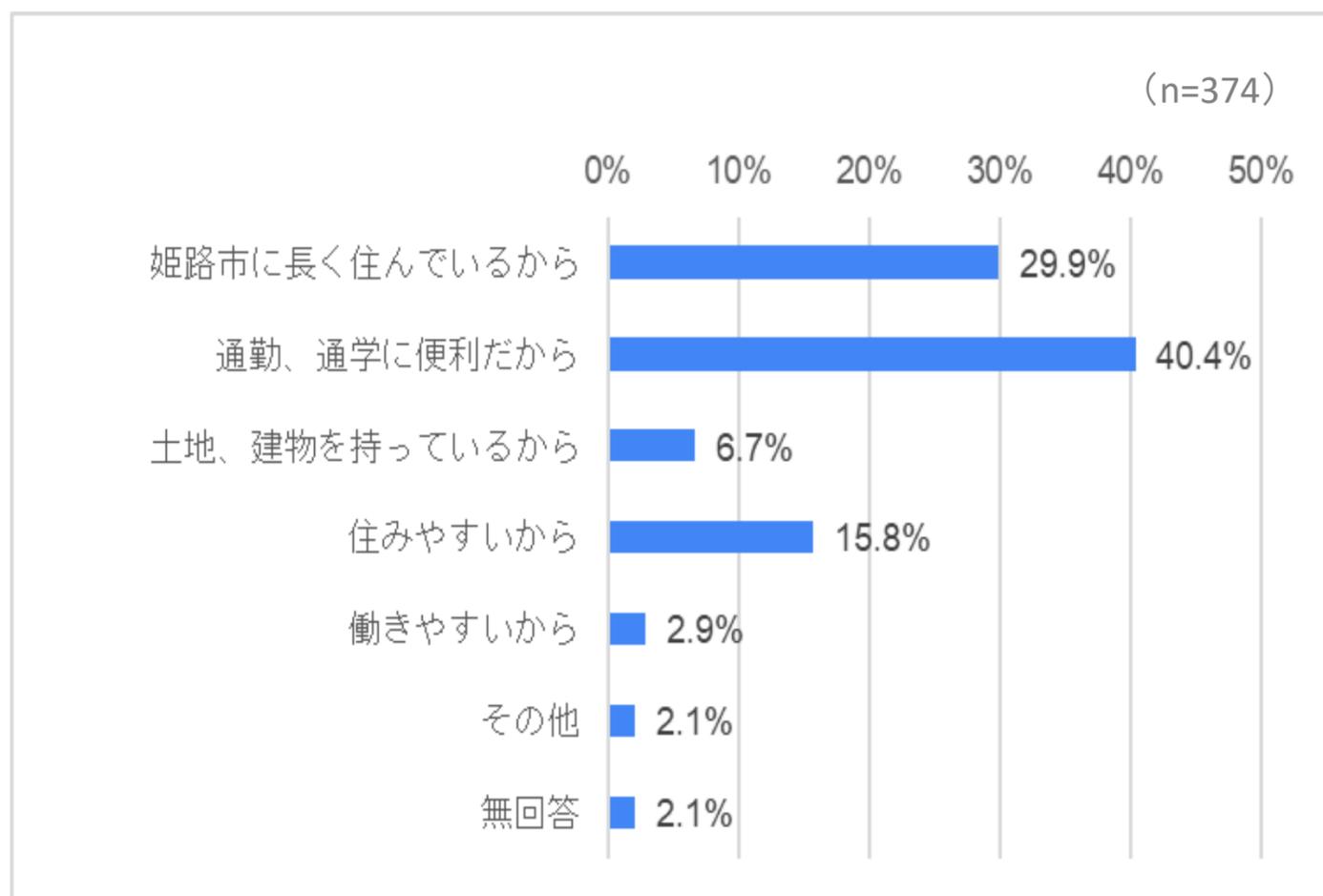
④ 今後の姫路市での居住意向



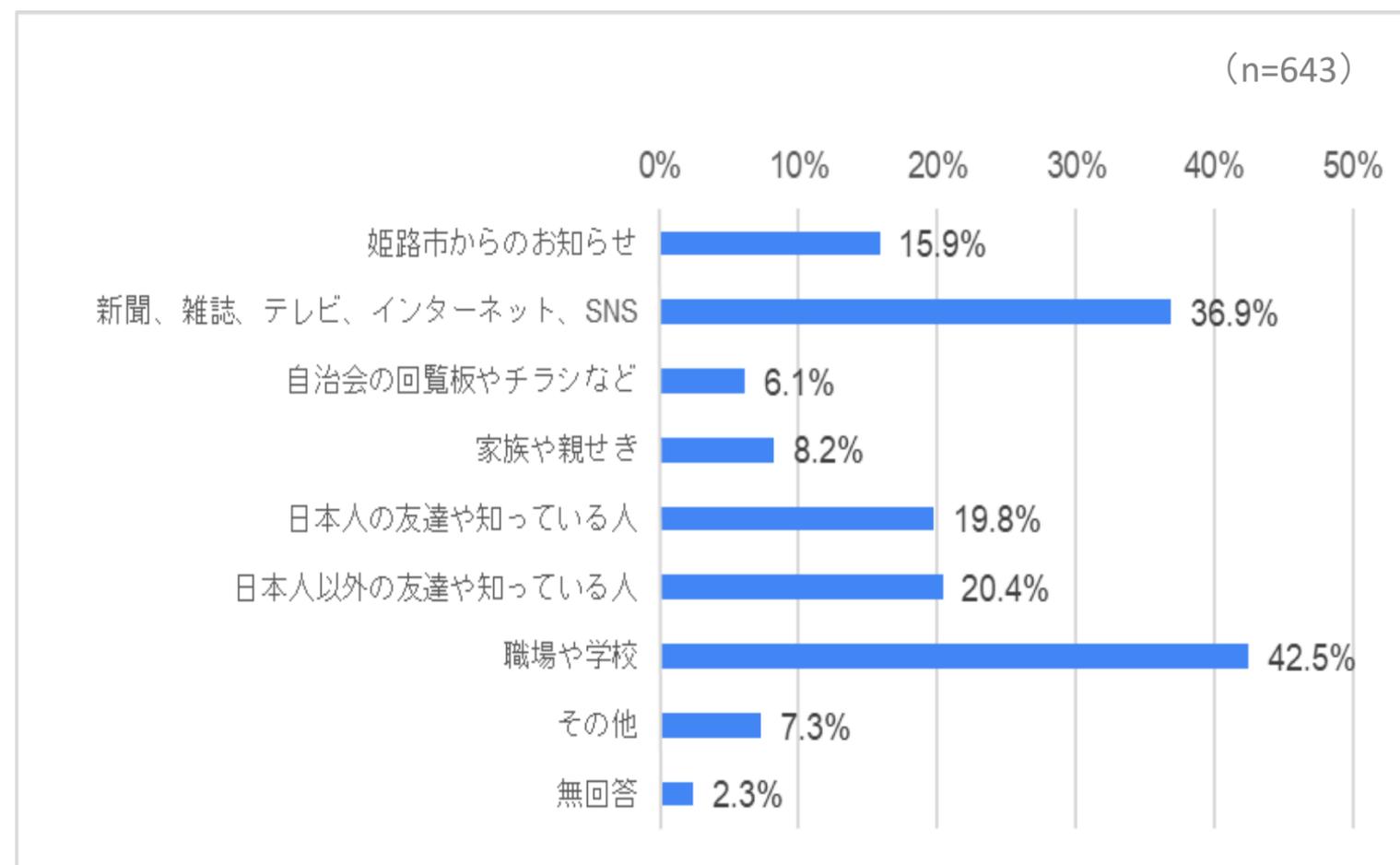


外国人への調査結果

⑤ 姫路に住みたい理由



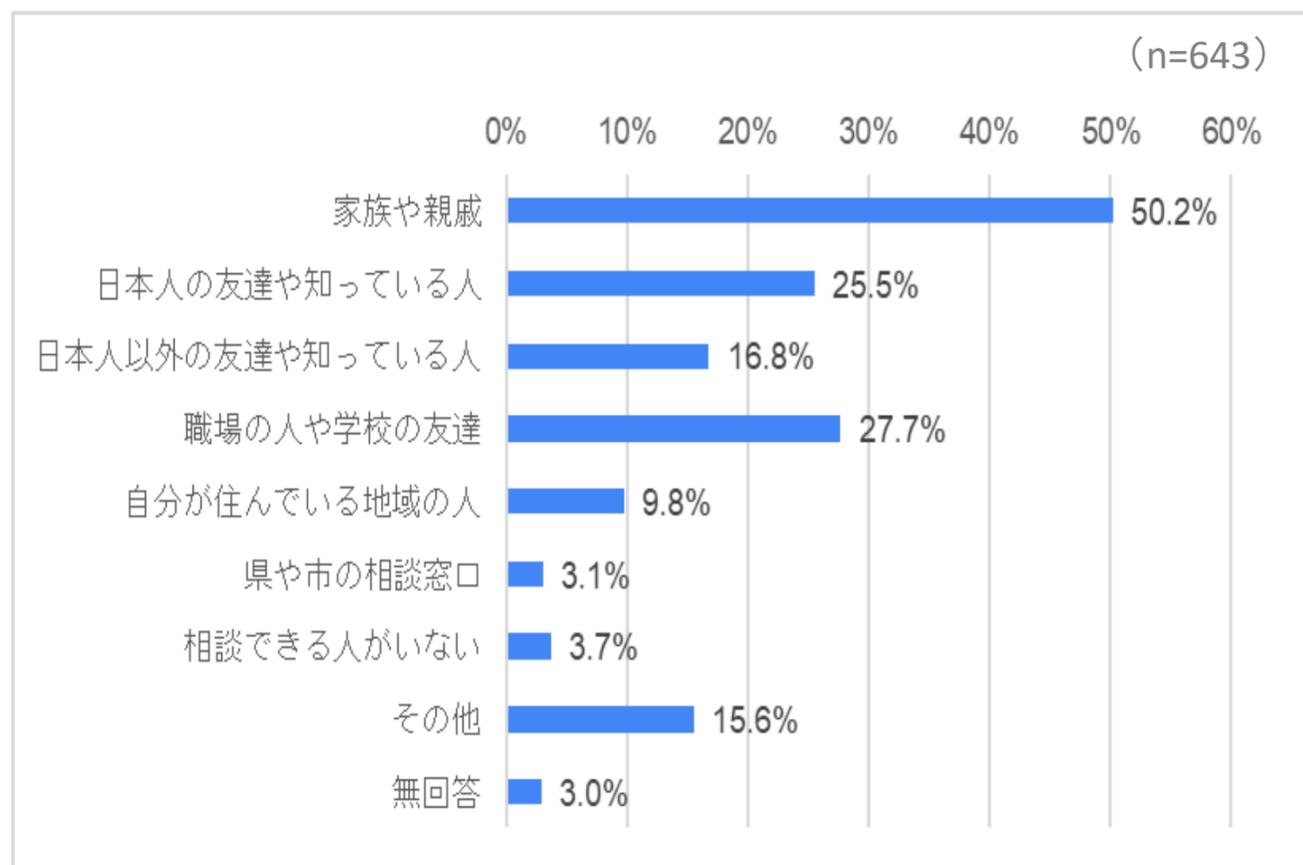
⑥ 生活情報の入手方法 ※複数回答



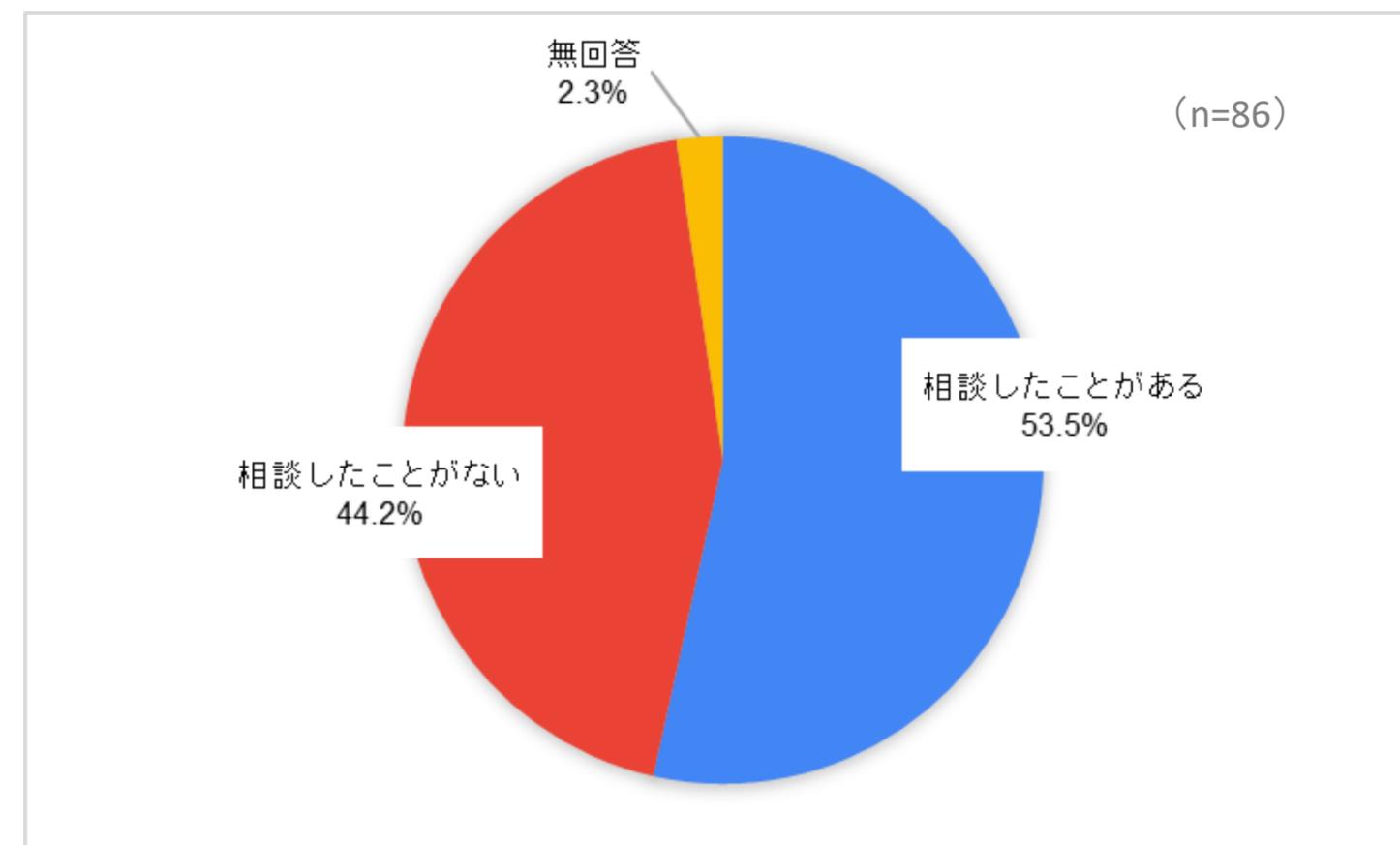


外国人への調査結果

⑦ 困ったときの相談相手 ※複数回答



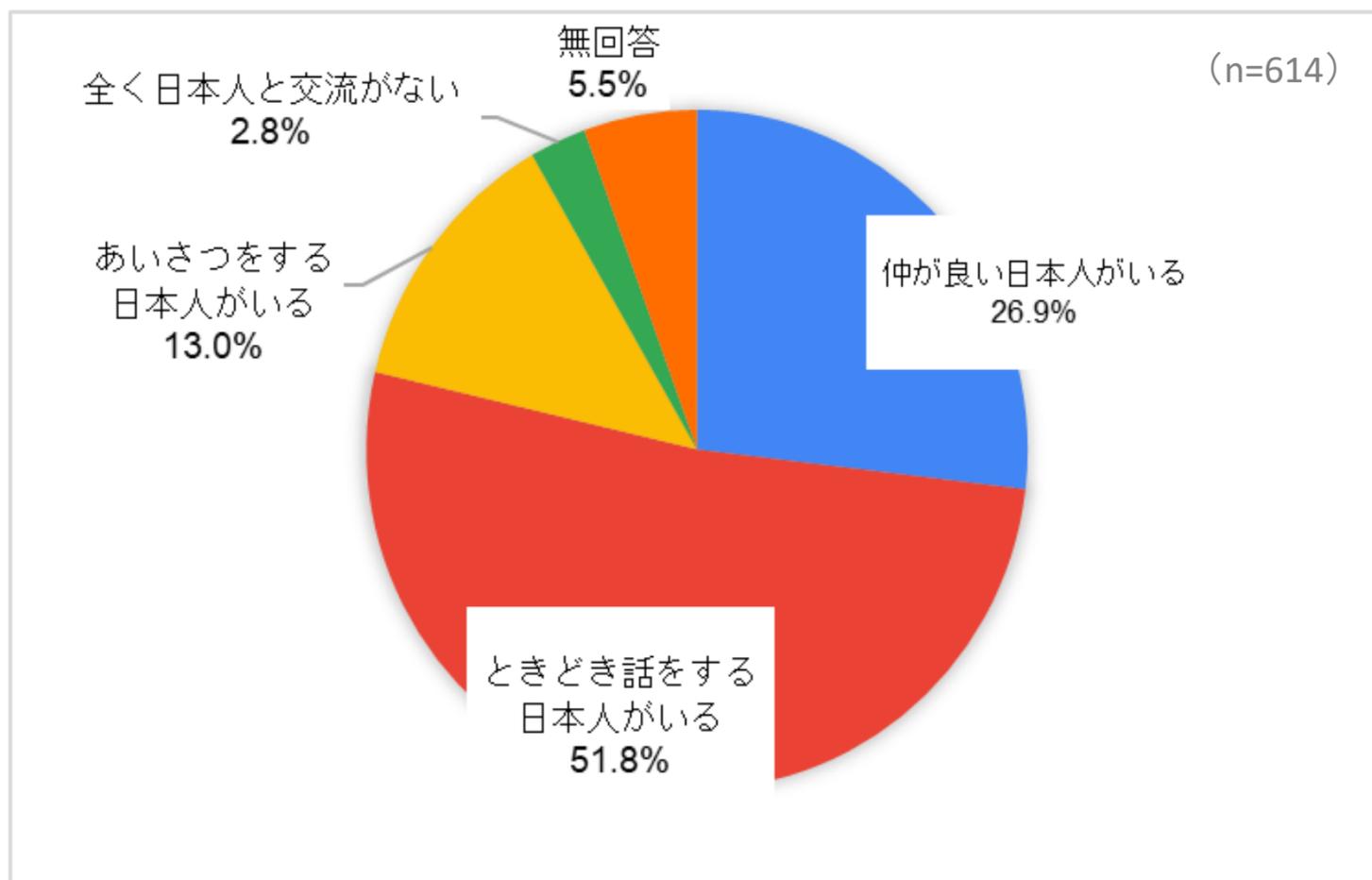
⑧ 外国人相談センターの利用



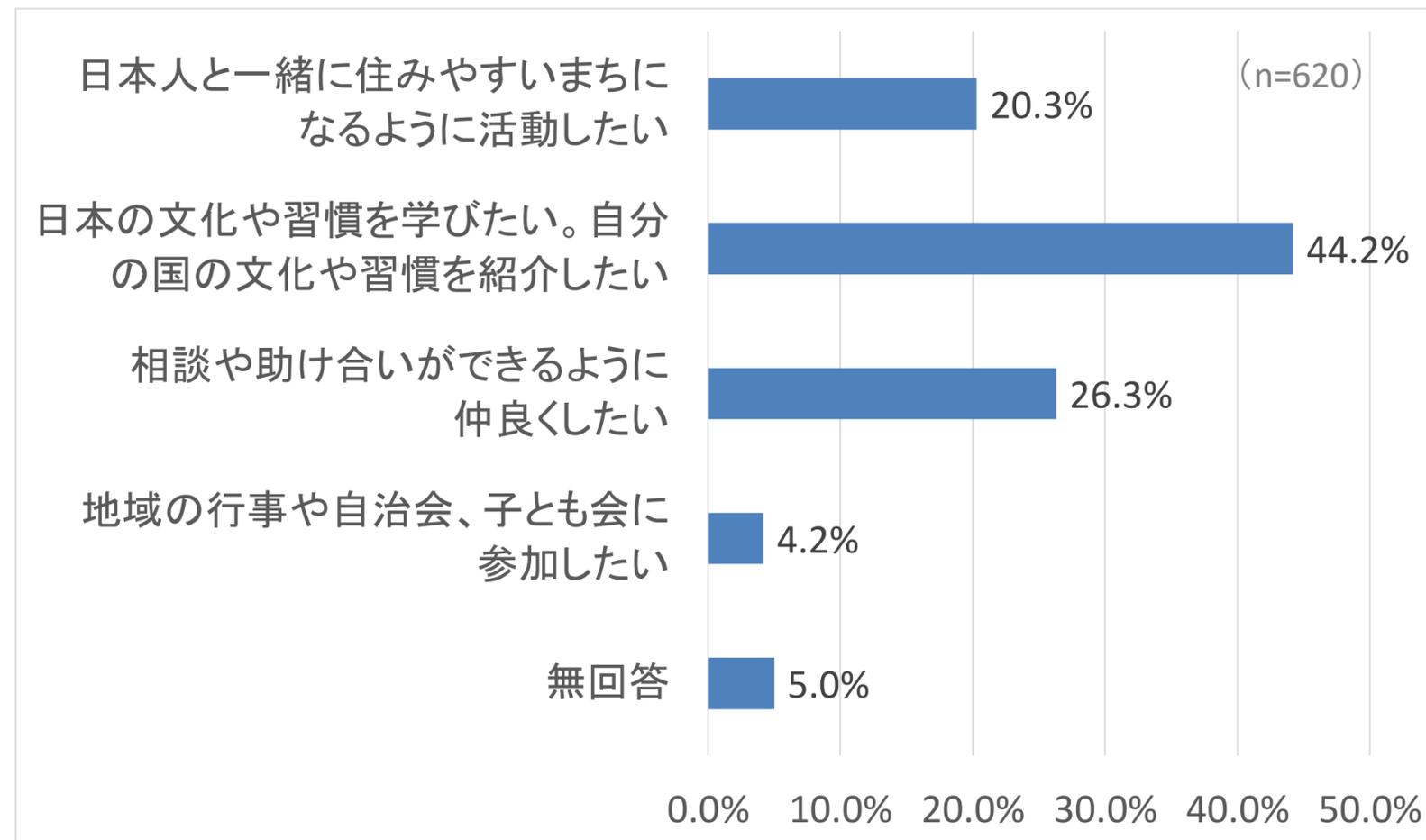


外国人への調査結果

⑨ 日本人との関わり



⑩ 日本人との交流に関する希望



SWOT分析による現状把握

<p>Strengths : 強み</p> <ul style="list-style-type: none"> • 圧倒的な知名度を誇る地域資源の存在（世界遺産・国宝「姫路城」） • 独自の国際交流の基盤（海外姉妹都市・姉妹城等との交流） • ものづくり産業の集積（高度なものづくり産業、地場産業） • 世界平和を強く願う取組（「不戦の城」姫路城、慰霊塔など） • 優れた交通アクセス（山陽新幹線、山陽自動車道など） • 地域コミュニティ力の強さ • 芸術文化の国内外への発信力の高さ • 利便性の高い大規模コンベンション施設やスポーツ施設の存在 	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 20px; border: 1px solid #ccc;">S</div> <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 20px; border: 1px solid #ccc;">W</div> </div> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="background-color: #4dd0e1; padding: 20px; border: 1px solid #ccc;">O</div> <div style="background-color: #2196f3; padding: 20px; border: 1px solid #ccc;">T</div> </div> </div>	<p>Weaknesses : 弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「通過型観光」からの脱却の遅れ • MICE機能・宿泊施設の不足 • 大都市圏への若手人材の流出 • 多文化共生社会への理解不足 • 限定的な都市イメージと姫路の魅力を世界に伝える発信力の不足
<p>Opportunities : 機会</p> <ul style="list-style-type: none"> • 歴史・文化体験への世界的ニーズの高まり • 大阪関西万博のレガシーの活用（グランドピアノ、アクリエひめじ、ひめじスーパーアリーナ） • 国の外国人材受入政策の活用 • SDGsやGXへの世界的な潮流 • デジタル技術の進展 		<p>Threats : 脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> • 国際情勢の不安定化とパンデミックリスク • 激化する国内外の都市間競争 • 国内の人口構造の変化 • 大規模自然災害の発生リスク

SWOT分析による現状把握

Strengths : 強み

S

- 圧倒的な知名度を誇る地域資源の存在
 - 世界遺産・国宝「姫路城」という、世界的に認知度が高く、比類のない集客力を持つ観光資源を有する。これはインバウンド誘客や都市ブランド力の向上の強力な核となる。
- 独自の国際交流の基盤
 - 姉妹都市・友好都市提携を締結している海外都市※との長年にわたる交流実績があり、市民レベルでの交流基盤が構築されている。
※ 海外姉妹都市・友好都市：シャルルロア市（ベルギー）、フェニックス市（米国）、アデレード市（豪州）、クリチバ市（ブラジル）、太原市（中国）、昌原市（韓国）
 - 姫路城と海外の城郭※等との姉妹城提携や観光友好交流協定は、他都市にはない独自の国際交流の切り口である。
※ 海外姉妹城・観光友好城：シャンティイ城（フランス）、コンウィ城（英国）、ヴァヴェル城（ポーランド）、プラハ城（チェコ）、シェーンブルン宮殿（オーストリア）、ノイシュバインシュタイン城（ドイツ）
- ものづくり産業の集積
 - 播磨臨海工業地帯に、ものづくりの分野で高い技術力を持つ大企業や中小企業に加えて、地域に根差して発展してきた地場産業が集積しており、市内企業の海外ビジネス展開や海外企業誘致の基盤が備わっている。
- 世界平和を強く願う取組
 - 「不戦の城」と称される姫路城や太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔などを有し、戦災からの復興を遂げ、平和都市宣言、非核平和都市宣言を行っている取組は、「平和都市」としてのメッセージを強く発信する力を持つ。
- 優れた交通アクセス
 - 山陽新幹線、JR山陽本線、播但線、姫新線が乗り入れるターミナル（JR姫路駅）を有し、姫路バイパスや山陽自動車道など、市域を超えて各都市と連結する広域幹線道路網が整備され、関西国際空港・伊丹空港・神戸空港からもアクセスしやすい地理的優位性を持つ。
- 地域コミュニティ力の強さ
 - 自治会組織率が全国的にも高く、行政と地域の円滑な連携が可能である。
- 芸術文化の発信力の高さ
 - 「音楽のまち・ひめじ」として文化振興、ル・ポン、交響詩ひめじコンクール、ベーゼンドルファ・グランドピアノの活用、姫路バイオリンコンクール、市立美術館と海外美術館との連携の取組など、日本、姫路への関心を高める多彩な芸術文化イベントを展開している。
- 利便性の高い大規模コンベンション施設やスポーツ施設の存在
 - 「鉄道駅に近接し、大規模な国際会議や展示会に対応できるコンベンション施設「アクリエひめじ」や大型スポーツ施設「ひめじスーパーアリーナ」（令和8年オープン）がある。

SWOT分析による現状把握

W

Weaknesses : 弱み

- 「通過型観光」からの脱却の遅れ
 - ・ インバウンド観光客の多くが姫路城のみを目的地としており、市内での滞在時間が短く、観光消費額が伸び悩んでいる。
 - ・ 宿泊、夜観光につなげる夜の魅力不足や購買意欲を刺激する土産物の不足。
- MICE機能・宿泊施設の不足
 - ・ ハイレベルな要人接遇に対応できる高級ホテル等が不足しており、国家元首級が参加する国際会議や大規模MICE誘致の機会を逸失している。
- 大都市圏への若手人材の流出
 - ・ 大学等を卒業した若者やグローバル人材が、より魅力的な雇用機会や生活環境を求めて京阪神地区や首都圏などへ流出している。
- 多文化共生社会への理解不足
 - ・ 外国人住民が増加傾向にあるが、医療、教育、住宅といった生活面での多言語対応やサポート体制が十分に行き届かず、外国人の定住につながりにくい。
- 限定的な都市イメージと姫路の魅力を世界に伝える発信力の不足
 - ・ 「姫路城のまち」という強力なイメージがある一方で、ものづくり産業都市としての側面や、豊かな自然、城下町として育まれた歴史や文化といった多様な姫路の魅力が国内外に十分に伝わっていない。

SWOT分析による現状把握

Opportunities : 機会

O

➤ 歴史・文化体験への世界的ニーズの高まり

- ・ 円安を追い風に、訪日旅行への関心が世界的に高まっている。特に「コト消費」へのシフトが進んでおり、姫路城や書寫山圓教寺、地域の祭り、伝統工芸といった日本の歴史・文化資源を活用した体験観光へのニーズが高まっている。

➤ 大阪関西万博のレガシーの活用

- ・ オーストリア館に展示されたグランドピアノを活かした「アクリエひめじ」での音楽イベントの開催により芸術文化面での姫路の魅力を世界に発信できる。
- ・ 「アクリエひめじ」、「ひめじスーパーアリーナ」は大阪・関西万博で高まった日本や関西への関心を受け止め、国際的なイベントを誘致する最高のタイミングとなる。

➤ 国の外国人材受入政策の活用

- ・ 民間企業における外国人材活用への機運が高まり、国の外国人材の受入施策や制度を積極的に活用した事業を展開できる。

➤ SDGsやGXへの世界的な潮流

- ・ 国際社会において気候変動対策や持続可能な社会の実現に向けた取組への関心が高まり、都市ブランド力を向上させる機会となる。

➤ デジタル技術の進展

- ・ 越境ECプラットフォームの普及やSNS等のデジタルマーケティング手法の進化に加え、生成AIの進歩が著しい。これにより、市内の中小企業は、海外市場での販路拡大を図れるだけでなく、生成AIの活用により生産性向上や新たな事業創出につなげる機会が増えている。

SWOT分析による現状把握

T

Threats : 脅威

➤ 国際情勢の不安定化とパンデミックリスク

- 国際紛争、テロ、新たな感染症の発生は、国際社会において人やモノの移動を停滞させ、インバウンド観光やサプライチェーン、国際交流事業に深刻な打撃を与えるリスクを常時内包している。

➤ 激化する国内外の都市間競争

- 近隣の京都・大阪・神戸はもとより、国内外の強力なライバル都市との間で、インバウンド観光客やMICE、優良企業の誘致を巡る競争が激化している。

➤ 国内の人口構造の変化

- 日本全体の人口減少と少子高齢化の進行は、労働力人口の減少を招き、地域経済の持続的な成長を阻害している。さらに、人口減少による地域コミュニティの弱体化が急速に進んでいる。

➤ 大規模自然災害の発生リスク

- 南海トラフ巨大地震などの大規模災害が発生した場合、都市機能が麻痺し、人的・物的被害はもちろん、海外とのサプライチェーンが崩壊し、確立してきた国際的な評価が大きく損なわれる可能性がある。

基本 目標 (案)

世界とつながる「Himeji of Japan」へ

グローバル社会を担う人材の育成と多文化共生をより一層推進するとともに、世界との連携を強化しながら本市の新たな価値を創出することで、世界から選ばれ、市民が誇りを持って暮らせる国際都市・姫路の実現を目指す。

基本 方針 (案)

- I. 国際的な意識と広い視野を持ち、姫路の未来を拓く人材の育成
- II. 多様性と包摂性に富んだ暮らしやすい多文化共生社会の構築
- III. 国際交流の推進と世界における都市ブランド力の向上